

Minato International Association

港区国際交流協会

No. 28

South Wind

〒105-8511 東京都港区芝公園 1-5-25 港区役所内

1-5-25 Shibakoen, Minato-ku, Tokyo 105-8511

November 21, 2000

Tel. 03-3578-3530 / Fax. 03-3578-3537 / E-Mail: s-wind@minato-intl-assn.gr.jp

**史跡・三味せん寺
大信寺の魅力**

**史迹 三味线寺
大信寺的魅力**

**A Historic site:
Shamisen Temple (Daishin-ji Temple)**

阪田 久美子（日本）

阪田 久美子（日本）

Ms. Kumiko SAKATA (JAPAN)

ごく最近、私の住まいの近くの港区の寺町といわれる町で、あるお寺に出会った。そのお寺が浄土宗ということで、早速、近所の図書館に走り、浄土宗の本を開いてみた。浄土宗、法然の教えは、多くの仏や菩薩の中から阿弥陀仏を選んで、往生を願うには阿弥陀仏の名を唱えることと専信を説いたという点でキリスト教の一神教に似ていと教えられた。ある歴史家は、ヨーロッパのプロテスタント派と法然等の鎌倉仏教の類似点を、信仰の内容から「信仰の重視」「宿命感」「儀式の簡略」「復古的傾向」「妻帯の容認」「社会的実践の重視」そして「悪の横行」の7点を挙げている。

港区に移り住んで以来、私と愛犬のラブラドルレトリバーの朝の散歩道に、高松宮邸の脇を通り、魚藍坂を下り、伊皿子坂を上る順路がある。魚藍坂下に大信寺という寺があり、境内に銀狐がいて、寺の門前、左脇に「江戸における三味線製作の始祖」なる東京市指定石碑が目立つお寺である。三味線寺の名は江戸三味線製作の祖、名工の石村家二代江戸元祖の石村近江の名を継いで代々三味線製作の名工を輩出した歴代石村家の菩提寺だったということに起因している。因みに私が以前住んでいた逗子市での愛犬との散歩道は、飯島の正覚寺から左に和賀江島を見て

就在最近 在我家附近的港区寺町看到这个寺。这寺属于净土宗。我即刻走到附近图书馆，翻开有关净土宗的书籍。据说净土宗在众多的佛和菩萨之中，选择了阿弥陀佛。相信只要唱诵阿弥陀佛的名号，就能往净土。在专一信仰上与基督教的一神教相似。某史学家例举了欧州新教徒与法然等鎌倉佛教的类似点，如信仰内容方面有：“重视信仰”“宿命感”“仪式简略”“复古倾向”“允许有妻子家庭”“重视社会实践”“邪恶横行”7点。

移居至港区以来 我与爱犬朝早散步路程、有时经高松宫邸旁边 下鱼蓝坡、登伊皿子坡。鱼蓝坡下有寺名大信。院内有银狐。寺门左侧显目地立着写有“江戸三味线琴制作始祖”的东京市指定的石碑。三味线寺寺名起缘于继承了江戸三味线制造始祖、名工匠石村家第二代江戸元祖——石村近江之名。三味线琴制造名工匠辈出的历代石村家菩提寺。而在我以前住过的逗子市与爱犬散步时，从饭岛正觉寺左侧可看到和賀江島。通过净土宗七大本山之一鎌倉光明寺 直到木材座。这都是净土宗的寺。也许是一种巧合吧？某晚 我单独路经大信寺。漆黑的院内 可看到本堂的灯光。院中传来大合唱的歌声。那种和式、西式文化的谐调真是太美妙了。我不禁停住脚步。以来 为了寻觅那种合唱歌声 除了

Very recently, I happened to stop in the front of a temple called Daishin-ji. The area, very close to my place, was once called the city of temples. Among many temples and shrines, this one fascinated me a lot, somehow. Since I learned that the temple belongs to the Jodo sect, I rushed to the public library nearby, and found a book on the Jodo sect. Priest Honen, the founder of the sect, spearheaded the Kamakura Buddhist “reformation.” Honen selected “Buddha Amida” out of many “Hotoke” & “Bosatsu” and in the Jodo, or Pure Land, this worship focused on the “Buddha Amida” and on rebirth in this Western Paradise on Pure Land called “Gokurakuen.”

From this point of view, the Jodo sect has something in common with Christianity. A certain historian mentioned seven similar points in European Protestantism and Kamakura Buddhism. Those points are: attaching importance to faith, view of fate, informalization of ceremony, tendency to revert to the old ways, permission for marriage, attaching importance to social practice and the striding of vice. Since I moved to Minato-ku, every morning I take my dog for a

浄土宗七大本山の一つである鎌倉光明寺を通り、材木座までの順路であった。いずれもが浄土宗の寺というのも単なる偶然であろうか。ある晩、私は一人で大信寺の前を通った。真っ暗な境内の中に本堂の灯りが見え、境内の中から大合唱が聞こえてきた。和と洋のあまりにも素晴らしい調和に、私はしばし足を止めた。以来、あの大合唱を求めて、愛犬との散歩以外にも、敢えて大信寺の前を通るようになった。そんなある日、何気なく見ていたテレビの画面に、私はあの大信寺の之音会(しおんかい)を見た。浄土宗、法然上人の御心を芸術化して、幅広い衆生への教化を試み、浄土宗日常勤行式の宗定音声を基調に、現代の若い世代にも聞き入れやすく歌いやすい旋律を、ご住職自らが作曲して御仏の教えを広く理解してもらう目的であることを知った。「ああ、あの暗闇のお寺の境内から聞こえてくるあの音楽が・・・」。私は大信寺の画期的な音楽活動をもっと知りたくて、矢も盾もたまず逸る気持ちを押さえて、やっと二日後に大信寺第 26 世現住職にお目にかかることができた。

ご住職は生来音楽を好み、雅楽、邦楽、声乐等を学び、音楽に対する愛着と僧侶として宗祖の御仏の教えを現代の多くの人びとに広めたいという宿命心を見事なまでに融合させたのである。1987 年春、縁あって入手したという三管の笙(しょう)と五管の篳篥(ひちりき)の中の一管の笙を奏でているうちに、突如として「一枚起請文」の作曲を思い立ったのだそうだ。「一枚起請文」とは法然上人が亡くなる二日前に、古参の門弟である源智上人の依頼に応じて、自らが達した宗教的な境地で平常よく語っていたことを、簡潔に滑らかな筆致で書いたものである。浄土宗信仰の神髄を一紙にまとめられた法語として、浄土宗では広く唱えられているという。この誉れ高い名文を幸田露伴は「日本文で書かれた神品」と言い、高村光太郎は「仏を信じ身を投げ出した昔の人の恐ろしい告白の真実が今の今でも生きて私を打ちました」と記している。この起請文にまつわる私個人の思い出があり、

与愛犬散歩外、我也常常打那大信寺前经过。某天，我随意看着电视画面，无意中看到了大信寺的“之音会”。得知寺主为了使佛教教义让更多人理解，自己作曲，把净土宗、法然上人的教义艺术化，试图以此教化芸芸众生，以净土宗日常仪式的宗教声音为基调，写出为现代年轻人易于理解的、易唱的旋律。“啊，原来这就是那黑夜里寺院中传出的音乐……。”我非常急于了解大信寺这种崭新的音乐活动，强按着箭在弦上的迫切心情，翌日拜访了大信寺现在的第 26 代掌门人。

住持生来喜欢音乐，学习过雅乐、邦乐、声乐等，对音乐的热爱和要把祖宗的佛教教义向更多人广泛传播的僧侣的使命感完全揉合在一起。1987 年春，他有缘得到三支笙和五篳篥，当他吹奏其中一支笙时，突然想到要把“一纸起请文”编成乐曲。“一纸起请文”是法然上人逝世前两天，应弟子源智上人要求，把自己达到的宗教境地以很简洁流畅的笔调写成的，把净土宗信仰的真髓浓缩为一纸法语，为净土宗广泛诵唱。关于这备受称赞的名文，幸田露伴称其为“日文的神作”，高村光太郎写道：“全身全灵信仰佛教的古人，那令人颤栗的、真实的自白，在今天在现时，仍深深打动了活着的我”。关于这“起请文”，我个人也有回忆，说有回忆，不如说现在才注意到。据今十多年前，我曾在上述逗子市饭岛正觉寺小坪寺辅导孩子们英文。住持，也就是孩子们的祖父去世时，我也参加了葬礼。几天后，我表扬一个孩子：“胁川君，你平常很淘气，正座时能那么长时间，身子动也不动，真不愧为寺庙的孩子”。他说：“小坪寺的康顺君才叫厉害呢，能背诵全部‘御誓言’”。一会儿康顺君和石井君来了，胁川君映求他：“背背看”。他流畅背诵的就是这“一纸起请文”。我只听懂了“南无阿弥陀佛”一句。大信寺住持说：“佛

walk past the Princess Takamatsu's residence, walking down the steep slope to the foot of Gyoranzaka and ascending Isaragozaka.

At the foot of Gyoranzaka, is Daishin-ji Temple. There, two things catch people's eyes: one is a live silver fox in the precincts of the temple; the other is a stone monument to the creator of the Shamisen (three-stringed musical instrument) in the Edo period, the Ishimura family temple. A system, called Danka, which required all families to be registered with one of the country's many Buddhist temples, was enforced by the Shogunate in the Edo period. Ishimura Ohmi was a skilled shamisen craftsman in the Edo period, and his family remained so for generations. The name "Shamisen-dera Temple" comes from the Ishimura family's "danka." Incidentally, when I was living in the city of Zushi a few years ago, my stroll with my dog took me past "Shokaku-ji Temple," by the man-made island Wagae-jima, through Kamakura Komyo-ji Temple and on to Zaimokuza Beach. What a coincidence that all the temples belong to the Jodo sect!

One evening, I was just passing Daishin-ji Temple, when a great chorus, not recitation of the Buddhist scriptures, stopped me. It was rather unusual, I may say strange, hearing such a sound from a temple. Standing for a while, I was absorbed in the marvelous harmony of the Japanese and Western worlds. Since that evening, I often took the way past Daishin-ji Temple, to my place to hear the chorus. One day watching TV, I chanced to see Shion-kai by Daishin-ji Temple. The present priest of Daishin-ji Temple was trying to show Honen's spirit in an artistic style, enlighten a

それが思い出というより今回初めてわかったことである。今から十年近く前になるが、前記の逗子市飯島の正覚寺と小坪の小坪寺のご子息たちに英語の指導をしていたことがある。正覚寺のご住職、つまり男の子のおじいさまがご逝去されたとき、私もご葬儀に参列させていただいた。数日後、「脇川君、いつも腕白だけど、あれほどの長い時間、身動きもせずに正座をしていられるなんて、さすがにお寺さんの子、素晴らしい」と褒めてあげた。すると彼は「小坪寺のやっちゃんなんか、もっと凄いんだよ。御誓言の書なんか全部言えるんだよ」と言った。しばらくして、やっちゃんこと石井君が来ると「ねえ、言ってみて」と彼はせがんだ。やっちゃんがすらすらと口にしたのが、この一枚起請文だったのである。南無阿弥陀仏の言葉しか私には聞き取れなかった。「お経は元々リズム感溢れる明るい祈り」とおっしゃる大信寺ご住職にもっと以前にお会いしていたらと、少し恨めしくさえ思った。

史跡、三味線寺、大信寺のご住職は仏の教えを音楽という芸術的観点より「之音会(しおんかい)」を充足した後、1992年の芝増上寺大殿での公演に始まり、二年後には同寺ホール、鎌倉光明寺での公演と更に続き、その後1997年にはハワイで「仏国の世界」を公演して好評を博したという。青い目の学生たちがローマ字つづりで教えたお経を目の前で歌う姿にたいへん感動したと、熱っぽく語るご住職が印象的であった。時代の要望に基づいて新しい様式の葬送儀礼を考え出し、今かなり深刻になってきている墓地問題の解消をはかる組織として之音堂を設立したという。故人を仏国の世界に送るにあたり、旅立つ者と送る者の意志を尊重して、より一層故人に思いを馳せる仏教音楽葬を夕刻より行うことにしたという。これは、様々な社会事情のために、遺族は別として、昼に執り行われる葬儀や告別式より通夜に参列する人が最近は多くなってきているという理由からである。そして、終の安らぎの場として屋内納骨堂「之音堂(しおんどう)」を提供するという。洋楽器を主体とした楽曲「仏国の世

経本来就是充满节奏感的明朗的祈祷经文”。听到住持这话，真有点相见恨晚之感。

既是史迹，又是三味线寺的大信寺的住持把佛教教义从音乐艺术角度出发，组成了“之音会”，于1992年在芝増上寺大殿公演两年后在该寺大堂、鎌倉光明寺公演后，1997年在夏天威夷以“佛国世界”为名公演，广受好评。记得住持颇为感慨地说到：蓝眼睛的学生听到他们用罗马字注音学习的经文以歌曲形式诵唱时的感动情形。据说之音堂的成立，是为了以新式葬送仪式满足时代的要求，并力图解决现在越来越严重的墓地问题。在送故人前往佛界时，尊重上路者与送行者的意愿，在傍晚时奏起佛教音乐，以寄托对故人的哀思。据说因为各种社会原因，除家属以外，最近参加“通夜”的人比参加白天举行的葬仪、告别式的人为多。而且，提供室内灵堂——“之音堂”作为最终的安息地，在以西洋乐器为主的“通往佛界”的乐曲里，排入自己选择的歌曲演奏。可选择的有洋乐、邦乐、日本歌曲、童谣等，范围广，日式西式皆备，更感到住持少见的、丰富多彩的想法。还可以满足雅乐、日本舞的要求。能演奏日式西式乐器，唱男高音意大利歌曲，并且有杵屋胜州名号。具有近四百年历史的大信寺的现住持，能如此广泛地满足现代需要，创造并实行音乐葬，这全凭住持自己的努力，我只能用尊敬一词来表示感谢。

京都知恩院门主鼓励他：“继续谱写适应时代的新曲”，真太好了。据说法然上人是性情稳重的美男子，从其风度可看出门第很高，是讲法的名人，以智慧透彻解说人世的奥秘，极难解释的佛教经典由法然上人解说，就成了简单明白的真理，对众人的提向，总以平易的语言及口头禅等回答，以振奋人心，劝人皈依净土门。我想，在这个意义上可以说，大信寺的住持确实是踏着法然上人的足迹走过来

wide range of people and compose a melody based on a certain sound of the Nembutsu of the original vow. These are intended for the young generation to hear and sing and to help them understand the Jodo sect easily. Then I realized what the chorus I heard the other night had been. I finally made an opportunity to meet the priest a couple of days later. I really wanted to know more of his remarkable music activities.

The priest is particularly fond of music and has studied Gagaku (ancient court music and dance), traditional Japanese music and vocal music. He marvelously harmonized his own love for music with his destiny as a priest. In spring 1987, he obtained two kinds of traditional Japanese wind instruments, three “shou,” resembling a panpipe and five “hichiriki,” also resembling a pipe. Playing one shou, he suddenly took it into his head to compose “Tchimai-kishomon,” a vow written on a piece of paper by Honen two days before his death to teach that simple repetition of “Namu Amida-Butsu” (I take my refuge in the Buddha Amida), for the purpose of “ohjo,” rebirth in the Buddha Amida’s Pure Land in the West; this was written at the request of Honen’s disciple, Genchi. Talking about “Tchimai-kishomon,” I happened to have two young boys among my many students who were from temples. One of them, about 12 years of age chanted a sutra. I could catch only one “Namu Amida-Butsu” then, but I now know it was “Tchimai-kishomon.” I felt sorry that I had not met the priest before.

After the priest started “Shion-kai,” he performed publicly before audience at Zojo-ji Temple

界への誘い」に、個人による選曲を織り交ぜて演奏するという。洋楽、邦楽、日本歌曲、童謡と幅広く和も洋も用意できるというのは偏にご住職が類稀なる多彩な方であるということである。更に雅楽や日舞の希望にも応じるという。和洋両楽器を奏で、イタリア歌曲をテノールで歌う上、枳屋勝州の名を持つ名取でいらっしゃる。四百年近い歴史を持つ大信寺の現住職であって、現代のニーズにこれほど幅広く応じることができる音楽葬を考え出し活動に入られたということは、ご住職ご自身がおできになるからだと私にはただ「尊敬」の一語に尽きる。京都知恩院門主より「更に時代に合った新曲を次々に」と励まされたそうだが、素晴らしいと思った。法然上人は穏やかな美男で毛並みの良さがその風貌から匂ってくるようで、人間的な深みを透徹した知性を持つ説法の名人であったという。難解極まりない仏教經典も法然上人が語るとわかりやすく平明な真理を教えているように感じられたという。諸々の質問に平易な言葉で語り結びには常套句が用いられたが、人びとの心を奮い立たせる術を弁えた法然上人は浄土門への帰依を勧めたという言い伝えがある。大信寺のご住職はそんな意味で、確かに法然上人の跡に続いて歩いて来られていると思った。

今世紀最後のオリンピックで日本史上初の女子マラソン金メダリストに輝いた高橋尚子選手は「絶対に勝つ」という自分の意志について「この時代に生きた証を残したい」と語っていた。この時代に存在しているということの証明という意味でも、八百年前から歴史を持つ鎌倉仏教の一つである浄土宗に華麗で荘厳な仏式音楽法会儀礼を取り入れ、その発展と普及にご自身の生涯の念願として続けていくとの覚悟をお話くださる大信寺ご住職には、ご尽力いただきたいと切に願う。

長くて暑い夏が過ぎて、21世紀に向け、私としては久しぶりに爽やかな気分になった。

了。

在本世紀最後のオリンピック上取得日本第一块马拉松灿灿金牌的高桥尚子选手说：“绝对要胜利”，“要留下一个证据 证明我在这个时代生活过了”。从在这个时代存在的意义上 希望把华丽庄严的佛教音乐法会礼仪引进具有800年历史的鎌倉佛教之一净土宗 并把其发展、普及作为自己毕生使命的大信寺住持，继续努力。

长夏过去了，朝着21世纪，我感到久违了的爽快心情。

【翻译：王菲】

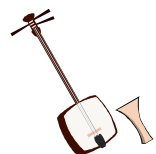
indoor “graveyard” to solve the problem of graveyard space that was gradually becoming scarcer. He decided to have a musical Buddhist funeral ceremony in the evening instead of daytime, for all the people who would really wish to attend and see the deceased off. It is not always easy for people who work during the day or full-time students to attend a funeral in the late morning or afternoon. The ceremony “Invitation to the world of Buddhist countries” mainly composed of western musical instruments, would also include any selection requested by the people. The fact that all types of music such as Western music, traditional Japanese music, Japanese songs in the classic style and even nursery song are acceptable, is due to this very rare, versatile priest. I was very impressed that a Buddhist priest could play both Western and Japanese instruments and moreover is a tenor singing Italian songs in the classic style. The head priest of Chion-in Temple in Kyoto told him to compose more in the future.

The founder of the Jodo sect of Buddhism, Honen, was a very good-looking intellectual gentleman and was a master of preaching. His preachings had wide appeal, attracting adherents from nobility, the warrior class and the common people. In his conclusion, to use a conventional phrase, he tried to put people into the Jodo sect. Knowing Honen, I thought that the present priest of Daishin-ji Temple would certainly follow in Honen's footsteps.

At the 2000 Sydney Olympic Games, the last in the 20th century, the marathon gold medallist, Ms. Naoko Takahashi said that she wanted to leave proof of her existence when she said, “I will win!” Introducing a magnificent and solemn Buddhist musical ceremony into the Jodo sect of Buddhism, with its more than 800 years of history as one of the Kamakura Buddhist sects, the present priest of Daishin-ji Temple made a fresh determination. I would like to give my support to his future activities to attest to the fact that he existed today as a priest of the Jodo sect. After the long hot summer, this unexpected meeting with the priest made me feel refreshed.

in 1992 and 1994. He also appeared at Komyo-ji Temple in the historic town of Kamakura. After a number of public performances in Japan, he presented “The world of Buddhist countries” in Hawaii, USA in 1997, and it was an admirable performance, I heard. The priest made an impassioned speech, saying that he was so impressed at seeing and hearing his melody sung by non-Japanese students there.

Because of today's demand, he thought out a new style of funeral ceremony and set up Shion-do, an



Expo 2000 Hannover (ハノーバー)

松岡カテリーナ・洋子
(日本・ギリシャ)

【8月1日記】

『英語を話す人々にとっては「Hannover」(ハノーバー)という語について、現地のドイツ人とは異なる認識を抱いているのだろうか。だいいち英語圏では、ドイツ綴りの「Hannover」からnを一つ、とりのぞいて「Hanover」と綴っている。そこに何か意味があるのだろうか…』

私は、上にあるような記事の一部を読むまで、『行くか。行かぬか』といった状態でした。なぜならメールでやりとりをするハノーバー在住のギリシャ人の友達が、まるで取りつかれたかのように「それじゃ、ハノーバーへ来る話にのりますか？ エクスポだよ！」と最後に必ず付け加えるのを忘れないのに対しても、『行こうかな、どうしようかな』と、まるで現実感がなく、夢の中にいるような気分だったからです。私が「Hanover」(ハノーバー)へ行ったのは、自分の目で「Hannover」を確かめたかったからだと思います。

そういったわけで、私は知識内にあったnから現地のnnへとやってきました。200に近い民族と国際団体が「人間」「自然」「テクノロジー」のタイトルのもと、153日の華々しいエクスポ開催期間中、4千万人の訪問者が期待できるハノーバーでその作品を公開しています。

もちろん、私の興味は日本人建築家のシゲル・ヤマモトのパビリオンにあったのです！ 流れ出るようなドームの繋ぎは、使用済み紙製品をきれいにリサイクルした紙でチューブ状の骨組みにしてあります。エクスポが終ればこの宮殿はそっくりそのままトイレトペーパーに再度リサイクルされるのです。最初は奇妙だと言われたこのコンセプトも、少し意識するだけで確かな魅力に気がつくはずです。なぜな

Hannover Expo 2000

松岡 Katerina 洋子
(日本・希腊)

【8月1日号】

『対讲英语的人来说,关于「Hanover」这个词,和当地的德国人有不同的理解。在英语圈国家、从德国式的「Hannover」里去掉一个n、读成「Hanover」。此中是否有所含意呢?』

我在读到以上一段文章之前,「是去呢?还是不去?」,非常犹豫。因为我的一位经常互发电子邮件,住在「Hanover」的希腊友人,虽然她每次都象着了魔似的不忘在最后加上一句「那你就来吧。来看博览会」,可是『到底是去呢?还是怎么办?』对我来说缺乏现实感,好象在梦中一样。我最终去了「Hanover」是因为想亲眼看一下。

如此,我从知识里的n来到了现实里的nn。近200个民族以及国际团体围绕「人类」「自然」「技术」这3大主题,在大型博览会展出的153天里,在4千万参观者的期待中,于「Hanover」展示他们的作品。

当然,我的兴趣在于日本建筑家 Shigeru Yamamoto 的展品! 好象就要喷流而出的半圆形屋顶的连接物,把使用完毕的纸制品用回收再利用的废纸非常漂亮地做成了圆筒状的骨架。博览会一结束,这个宫殿就会原封不动的被回收做成卫生纸。这个当初被认为很奇妙的作品,如果稍加注意,就会确实感受到她的魅力。因为众所周知开发如何维持资源就是这个世界博览会的主题之一。

我们日本建筑家何等聪明! 对他的构思我不禁反复赞叹。我对希腊的友人反复述说了以下的话,我的这种样子也会被看成好象着了魔似的吧。

「能在其他国家看到象 Shigeru 这样的天才日本人被承

Expo 2000 Hannover

Ms. Katerina Yoko MATSUOKA
(Japan/Greece)

[August 1, 2000]

“For English-speakers, Hanover means something different - if it means anything at all - from what it does for Germans. First of all, Anglophones have their own way of spelling it with only one 'n'...”

Before I read the above in an article about Hanover, I had actually been wondering about whether “to go or not to go?” to the Expo in Hanover. My Greek friend had persistently been trying to persuade me to go, by adding at the end of his e-mail messages “So, are you taking this chance to come to the Expo in Hannover?” And so I finally decided I had to go to Hanover to see with my own eyes how it really is in Hannover. And here I am in Hannover with two “n”s.

Under the theme “Humankind, Nature and Technology”, close to 200 nations and international organizations are presenting their visitors with their vision of the future. Some 40 million visitors are expected in Hannover during the 153 days that the Expo is being staged.

My interest was of course to visit the Japanese architect, Shigeru Ban's pavilion. His sweeping dome consists of a framework made entirely of recycled paper tubing. When the Expo finishes up, the entire edifice is to be recycled as toilet paper. At first, it seems like an odd idea, but on consideration it does have a certain charm after all. Particularly, because utilizing sustainable resources is one of the main themes of this world exposition. Our Japanese architect

ら、この世界万博のメインテーマのひとつが資源維持の開発だということは、周知の事実なのですから。

ああ、なんて私たち日本の建築家は賢いのでしょうか！私は、彼のアイディアに対して「ブラボー」と何度も繰り返し言っていたのです。そして、次のような言葉をギリシャ人の友達に繰り返し言った様子は、私自身も、まるで何かに取りつかれたかのように見えたことでしょう。

「シゲルのようなジャパニーズ・ジニアス(=天才的な日本人)が他国で認められているのを見るのは快感でしょ？ だって、見てよ！ 他のパビリオンはちっぽけな行列なのに、シゲルのパビリオンに入るのには、25 分待ちよ！」

我がパビリオンの「人間」「自然」「テクノロジー」あるいは、私のあまりに熱のこもった言葉にひれ伏したか、私を案内してくれたかわいそうなその友達には私が半分ギリシャ人だということも、ギリシャに数千年隔てた今でもパルテノンがあるということすら口にすることが出来なかったのです。もちろん、パルテノン神殿が、素晴らしい「人間」「自然」「テクノロジー」の産物だということは、言うまでもないことです。

「認是一种快感吧?你看!其他的展示作品前很少有人排队,可是要进 Shigeru 的圆形展出物要等 25 分钟呢!」

也许是我们这个展出品的「人类」「自然」「技术」,或者,也许拜倒在我的热情洋溢的话语下,陪我前来的可怜的友人连我是半个希腊人,以及虽然隔了数千年希腊依然有巴台农神庙的事也没能说出口。当然,不用说,巴台农神庙是「人类」「自然」「技术」的结晶。

[翻译:蔡 海东]

is a genius! I continually said “BRAVO” while visiting his pavilion. And I repeatedly said to my Greek friend: -

“Isn’t it great to see someone like Shigeru from your own country receiving such outstanding recognition in another country? Look, right here in front of us – people are lining up for 25 minutes just to get into Shigeru’s pavilion, not the other pavilions.”

While I was prostrating myself before the Japanese pavilion, my poor Greek friend never mentioned that I am half Greek and that I shouldn’t forget that the Parthenon in Greece, which has been standing for thousands of years, is also part of my heritage. But of course, I think the Parthenon is also a great example of “Mankind, Nature & Technology.”

青少年国際理解講座
ブラジル大使館を訪問して

倉谷 真央(14 歳)
(日本)

今回は二度目の参加で、さらに海外の事情を知ることができました。ブラジル大使館、外から見ただけでも、この国は大きい国だな、と思いました。面積は 850 万 k m²で、人口は約 1 億 6 千万人(世界第 5 位)です。日本人も明治時代からブラジルへ渡り移り住んだように、ブラジルにはたくさんの民族が混ざって住んでいることがわかりました。そしてカーニバルでは踊りに表されるように、他民族との関係がうまくいっていることに感動しました。どこの国にもその国独特の文化があるように、ブラジルにも興味深い文化がありました。その一つは絵画です。日本には、墨を使った墨絵や版木を彫って摺った彫刻画があります。ブラジルの絵は、絵の具を巧みに利用して独特の雰囲気を出していました。僕はまだ海外へ行ったことはありませんが、一度ブラジルへ行ってみて、現地の人と交流し、国中を歩き回ってみたいと思います。そうすれば、もっと世界のことが面白くなるといいます。ブラジルがこれからもっと豊かな国になっていって欲しいなと思います。

青年国際理解座談会
訪問巴西大使館

倉谷 真央 (14 歳)
(日本)

我第二次的参加这次活动。又能过了解更多的国外情况。从外面看大使馆。就觉得巴西是个很大的国家。面积有 8 5 0 万平方公里。拥有 1 6 0 万人口(占世界第 5)。明治时代就许多日本人移住到巴西去。这可了解巴西是一个民族融和的国家。巴西狂欢节可以看得出来多民族之间的关系特别好。真令人感动。每个国家有独特的文化。巴西也有颇有意思的文化。绘画是其中之一。日本有用墨水来画的「墨画」另外。木板上雕刻的「雕刻画」。巴西的绘画是巧妙地使用水彩来表现出来独特的风味。我曾没有去过外国。我就很想去巴西。和当地人进行交流。到处游览。这样一定对世界感觉起兴趣来。我希望今后巴西不断地发展下去。

[翻译:森本 明子]

Youth International Understanding Program
Visit to the Brazilian Embassy

Mr. Masao KURATANI (14)
(Japan)

As this was my second visit to a foreign embassy in Minato City, I could understand overseas affairs better this time.

Immediately on looking at the building from the outside, I perceived that Brazil is a country with a large land area.

The staff of the Embassy explained that the country has a territory of 8,500,000 square kilometers and a population of approximately 160 millions (ranking No.5 in the world in population).

I got to know that the Japanese have continuously migrated to Brazil since the Meiji era as well as people from other nations so that many races now live there together. What I was most impressed by was the fact that racial relations among the various nationalities are so successfully maintained that Carnival Festival dancing is performed comfortably by members of all races together.

Then, I noticed that Brazil with its ethnic mixture has developed a distinct and attractive culture of its own. One of its features is painting. In Japan, there is India ink drawing and woodblock printing among other types of art. But I felt a unique atmosphere in the skillfully painted pictures from Brazil.

I have not yet been abroad. But some day I would like to visit Brazil and travel to many places in the country and communicate with the local people. If I could have such an experience, world affairs might become more real to me.

I hope Brazil will continue to develop and prosper in the future.
[translated by: N Narita]

ムスリムのムリのない生活
—エジプトの自然環境と
イスラム教徒の日常生活— 2

権上 かおる (日本)

<暮らしの背景にあるもの>

「無理をしない生き方」の背景には、イスラム教の独自の人間観と3000年以上の長い歴史、厳しい自然環境があると思います。

(1) 人間観の違い

イスラム教は日本人の感覚では宗教というよりも道德や法律に近いように思えました。日本人の宗教観では「神頼み」とか「ご利益がある」という発想をしますが、イスラム教ではとんでもないことです。信心しても何の利益も期待しません。人間は神との契約のもとに生かされているもので、神が定めるシャリーア(イスラム法)を守らなければいけないのです。人間は本来弱いものという『性弱説』の思想がもとになります。西欧人の人間は本来強いものという『性強説』思想や日本人の『性善説』と大きく異なります。人間が采配できる領分には限りがあると始めから考えるのですから、無理してがんばることもありません。

他国人を悩ませるアラブの IBM というのがあります。

I: インシャーラー(=神の御心のままにー人間の力の範囲外、神の領域)

B: ボクラ(=明日ーいつ来るかわからない明日)

M: マレーシュ(=もう一回やり直すー仕方ない)

発掘の最後に風を揚げて上空からの写真を記録するのですが、風が強くて上手くいきません。明日また試みるの? という意味で「ボクラ?」と聞くと、「ラー(=No の意味)、インシャーラー」と答えてくれました。IBMの中でも使い分けがあるようです。

一方、他国人を救うアラビア語も存在するところが、寛容なところで

穆斯林的自然而然的生活
—埃及的自然环境和
伊斯兰教徒的日常生活— 2

权上 香 (日本)

【生活方式及其背景】

“自然而然的生活方式”大概和伊斯兰教独特的人生观，3000以上の悠久历史，以及严峻的自然环境有关。

(1) 多样的人生观

对日本人来说伊斯兰教与其说是宗教不如说更象是道德或法律。日本人信宗教都希望得到“神的保佑”或“求财”，而伊斯兰教是另一码事。信教但不企求什么。人和神之间有契约，人必须遵守神制定的法律—伊斯兰教法。思想的根源在于人是弱小的动物的『性弱说』。与欧洲的人是强大的『性強说』和日本的『性善说』不同。本来人所能调度的东西就很有限，所以也就不强求什么了。

在阿拉伯国家，有让外国人很难理解 IBM 说。

I: 英夏拉(=神心ー人的能力之外是神的领域)

B: 玻库拉(=明天，不可预知的明天)

M: 马里阿雪(=再干一次ー没法子)

考古挖掘到了最后阶段，要放风筝从空中拍照片，可是因为风大一直拍不好。用有“明天再试试?”之意的“玻库拉”问，回答是“不，英夏拉”。IBM 也有很多用法。

同时，也有对外国人很宽容的词语“哈德里拉”(托神的福)。不管回答什么问题都可以用。“身体好吗?”，“旅游如何?”，“工作如何?”都可以用“哈德里拉”回答。

伊斯兰教法内容大致可以分为4类。

1. 义务(一天祈祷5次，断食等)
2. 可能的话实行(麦加巡礼等)
3. 许可之事(可以娶4个妻子等)
4. 禁止(猪肉，饮酒等)

1~4 因人和场所而异，并非一成不变的。祈祷之前要洗脸和手脚，在尘世之中，他们也要保持清洁。

The Natural Life of Muslims:
The natural environment of Egypt
and the daily life of Muslims - 2

Ms. Kaoru GONJO (Japan)

<Background>

Muslims have developed their own unique philosophy of life based on their more-than-3000-year history - successful adaptation to a severe natural environment.

(1) A distinct view of humanity

I feel that Islam is more a code of morality than a religion. The Japanese have the idea of turning to God for help or of receiving divine favors, while Muslims remain faithful without expecting favors in return. A human being is given life by the grace of God and has to follow the divinely ordained *Sharia* (law of Islam) which is based on the view that human nature is inherently weak. This is much different from the western view, shared by the Japanese, that human nature is fundamentally strong or good. Muslims understand the limitations of the human being in leading his own life, so they don't have to struggle to live.

The Arabic philosophy of IBM distresses foreigners. The letters stand for:

I: In Shaa Allah (as God pleases-beyond the limits of human being's power, God's work)

B: Bukra (tomorrow-one never knows if tomorrow will come)

M: Maa Leesh (do it again-be obliged to do)

When we finished an excavation, we always took a picture from the sky by flying a kite. But it was not easy to do this because of the strong wind. I asked "Bukra?" (Are we going to try tomorrow?) The answer was "Laa. (No.) In Shaa Allah." It seems that they used IBM appropriately.

On the other hand, they have another more general Arabic word to "save" foreigners. That is "Alhamd-illah (Thanks to God.)"

しょうか。ハンドリラー(=神様のおかげ)です。どんな質問の答もこの一言で OK。「お身体の調子は?」「ご旅行はいかがですか?」「仕事は上手くいっていますか?」すべて「ハンドリラー」と答えればすみます。

イスラム法(シャリーア)の内容は、大きく分けて次の 4 種類に分類できます。

- ①義務(1日5回の祈り、断食など)
- ②できれば実行(メッカの巡礼など)
- ③許されること(4人までの妻帯など)
- ④禁止(豚肉、酒の飲食など)

①から④は人により場合により様々で、画一的なものではありません。お祈りの前には、顔、手足をよく洗うので、あの埃っぽい世の中でも彼らはとても清潔です。

4人までの妻帯も、戦争で男女の人口バランスが崩れたことからといわれていますが、財産も愛情も平等にという条件がついていますので、現在では複数の奥さんがいる人は少ないようです。(発掘人夫約150人のうち、親方ともう1人しか奥さんが二人いる話は聞きませんでした。)

お酒を飲んではいけないことも、あの熱暑の砂漠で酔っ払えば命取りですし、冷たい飲み物も一般的ではありません。彼らの習慣は、チャイと呼ばれる熱いお茶を砂糖をたっぷり入れて飲むことです。衛生上、健康上、この方が良いに決まっていますよね。

シャリーアのいろいろな事項を考えると、とても合理的に思えました。

(2) 長い歴史を持つ、心は豊かな社会

古代エジプトは、日本で言えば縄文時代に栄華を誇っていた、気の遠くなるような長い歴史を持っています。歴史とは、王様や征服者がどうだったなどということではなく、庶民の生活の中に深く刻み込まれているものと深く感じました。

据说一夫多妻制的原因，是因为战争导致男女比例失调。娶多个妻子要保证不偏爱其中的任何一位，现在娶多个妻子的人很少。(在考古挖掘工人中，只有老板和另外一个人娶2个老婆。)

禁止饮酒是因为在炎热的沙漠喝酒等于自杀。一般也喝冷饮。他们习惯喝茶益，在热茶里面放很多糖喝。对身体好，也很卫生。

伊斯兰教法所记的很多事项看起来都很科学。

(2) 历史悠久和宽阔胸怀的社会

古埃及有相当与日本绳文时期的繁荣和悠久的历史。所谓历史，不是指哪个皇帝或征服者怎样怎样，而是指那些刻入人们的生活中东西。

○阿拉伯的中华思想

有的埃及人认为埃及人是阿拉伯人中最优秀的。阿拉伯圈里教师大部分是埃及人，其他领域也有很多人才流出。电影业和电视也是阿拉伯中最大的。『阿拉伯中埃及最优秀！埃及之中卡依罗最优秀！卡依罗之中自己家族最优秀』。当然这种想法不会给任何人添麻烦。

○重视子女

埃及人对子女很重视。请朋友到家里作客，都喜欢把家谱给朋友看。

○喜欢歌和诗

对吟游诗人而言，诗歌是教养不可缺少的一部分。不会吟诗会被人轻视，“连诗都不会吟，是个没教养的家伙”。杂志里诗的投稿很多。问及诗的内容，大部分是日本人听了会脸红的爱情诗。

阿拉伯语恋人叫“哈比比”。卡依罗的街头巷尾到处可以听到“哈比～比，哈比～比，～～”，不绝于耳。有点象音调很长的日本演歌。在电影和电视节目中，因为坚信神是不会遗弃任何人的，所以结局总是皆大欢喜。伊斯兰法禁止自杀，埃及的自杀几乎是零。

○对政治很敏感

辛辣的政治漫画经常可以在报纸上看到，内容有国内的也有国外的。埃及人对日本很有好感，皮肤、眼、头发的颜色相同可能是其原因之一。

This word may be used to answer any question. “How are you?” “How’s your trip going?” “How’s your business?” You just say “Alhamd-llah.”

The contents of the law of Islam (Sharia) can be classified roughly into four parts.

- ①Duty (prayer five times a day, fasting)
- ②Practice if possible (a pilgrimage to Mecca)
- ③Forgiveness (having four wives)
- ④Taboo (pork, drinking)

Those four items vary, depending on the person or the occasion. Before they pray, they wash their faces and hands carefully so they are very clean, although it is dusty in town.

It is said that the reason they can have four wives is that the proportion of men and women was badly balanced after wars. Few men have more than one wife these days since it is only permitted on condition that all property and affection are shared equally among the wives. (In fact, I heard that only one boss and another worker out of about 150 excavation workmen had two wives.)

Regarding drink, if you drink in that fierce desert heat, you might die. Nor is it usual to have cold drinks there. They usually have a cup of hot tea, called “Chai” with a lot of sugar. It is much better in terms of hygiene and health, isn’t it? How rational *Sharia* is in many aspects!

(2) A society with a long history and a rich culture

Ancient Egypt, which was at the peak of its prosperity in the Jomon era of Japanese history, has an unimaginably long history. I found that history is not merely a succession of kings and conquerors but that which is deeply engraved in the life of the people as well.

○Arabic culture is the best in the world

The Egyptians think that Egypt is the best country in the Arabic world. Most of the teachers in Arabic countries are Egyptians and they are also

○アラブの中華思想

アラブの中でエジプトは最高という考えがエジプト人にはあります。アラブ圏の国々の教師の大部分はエジプト人で、他の分野での頭脳流出も多いようです。映画産業やテレビ局もアラブ最大ということにも見られます。「アラブの中でエジプトは最高! エジプトの中でカイロは最高! カイロの中で自分の家族は最高!」という誰にも迷惑はかけない幸せな思想です。

○家族思いの子煩悩

エジプト人はとても子どもを大切にします。自宅に招待されると、家系図を自慢気に見せられることも多いそうです。

○詩、唄が大好き

吟遊詩人の伝統の中、一般人の教養として詩は欠かせません。詩を詠まないで「詩も詠めないような教養のない奴」と軽蔑されます。雑誌の中に詩の投稿欄も多く、内容を教えてもらおうと、ほとんどが日本人では顔の赤らむようなオーバーな表現の熱い恋の詩でした。

アラビア語で恋人のことを「ハビービー」と言いますが、カイロの街のカーラジオやお店から「ハビービー〜ハビービー〜」とどこから始まりどこで終わるのかわからない、音域の狭い繰り返しの音楽がよく聞こえてきます。アラブ・ラブソングは、どこかこぼしを利かせた日本の演歌に似ていました。映画やテレビの恋物語は、神が見捨てるわけがないという強い信念があるので、いつもハッピーエンドだそうです。イスラム法で禁じられている自殺、心中はゼロに近い国ですから。

○するどい政治風刺の土壌

辛辣な政治漫画が常に新聞の紙面を飾っています。対象は国内ばかりではありません。エジプト人は、こちらが考えている以上に親日家です。皮膚や目や髪の色が同じなのも日本人に親しみを持つ理由の一つです。

在如庫首罗的卡路那克神殿买可乐时，穿卡拉贝亚服的老人突然说，“你好，细川先生。再见，宫泽先生。谢谢，中曾根先生。”，让人感叹于对日本政治的了解和信息之快。

○不醉于酒醉于谈话

卡依罗街边的茶馆，男人们整天和着茶益茶抽着水烟。会扛的人特受欢迎。

设置大气污染调查仪，又不让人看到很难。街边的茶馆和街头无所事事的男人很多。女的聚会一般在家里，游人是看不到的。

○乐于施舍 — 富人救济穷人

伊斯兰法规定富人救济穷人，穷人救济更穷的人是理所当然的。家庭垃圾中最多的是塑料，也就是日本人常喝的矿泉水容器。（因为是欧洲规格，壁比较厚可以多次使用。）看门人每天把它收集起来。干吗用呢？当路人讨水喝时，就在容器里装满水，让客人拿走（在埃及水和塑料容器都很贵）。在这样的社会里，是不需要老人优先座位的。

○重视名誉

队长告诉我“阿拉伯人马上可以决定上下关系”。很多种族的人居住在一起，观察人和会话技巧是很高的。

在这样的社会里，名誉很重要。买东西时，为了省钱而讨价还价是不行的。说“把这东西拿回日本，让朋友知道你的名声”，才是讨价还价的好办法。因为不会说阿拉伯语，所以也没有实践过。

(3) 埃及严峻的自然环境

埃及虽说是农业国，但绿色仅限于尼罗河沿岸。大部分地区的年降雨量在 5MM 以下。如库首罗和阿斯望等内陆地区的平均气温 34 度，平均湿度 16%。也许很难想象到底多热。但 40 度前后加上热风吹在身上，就好象在烤炉中了。

这样思想的民众，谁也不会去想改造国土征服自然。

当所谓发达国家在提倡长治久安社会之时，他们也许早就在实践了。

[翻译：海棠]

outstanding in other fields. This is evidenced by the fact that the movie industry and the TV stations are the biggest of all Arabic countries. “Egypt is the best in Arabia. Cairo is the best city in Egypt. The family is the best of all in Cairo!” This is a very happy thought which bothers nobody else.

○People love their families, and especially children, dearly.

Egyptians take great care of children. I heard they are likely to show the family tree proudly when they invite someone to their home.

○Lovers of poetry and song

Poetry is an indispensable aspect of culture for the general public, many of whom were traditionally wandering minstrels. If you don't compose a poem, you will be despised as a person with no culture. There are lots of contributors' columns in various magazines. When I asked the meaning of certain poems, I found many of them were love poems with exaggerated sentiments which made me blush.

Hibibi means one's girlfriend or boyfriend in Arabic. I often heard this kind of song with the word “*hibibi*” coming from car radios and shops everywhere in Cairo, but I didn't quite understand which was the beginning or ending of the song. Only repeated sounds with not much pitch variation reached my ear. Arabic love songs somewhat resemble the melodies of traditional Japanese songs. Since they strongly believe that God will never abandon them, love stories in movies and TV programs always end happily. Fictional characters seldom commit suicide in this country because the law of Islam forbids suicide.

○Keen political satire

Bitter political caricatures always appear in the newspaper. They are not only about domestic affairs. Egyptians are Japanophiles to a greater extent than we imagine. The same color of skin, eyes and hair is one of the reasons they are attached to the Japanese.

ルクソールのカルナック神殿の売店でコーラを買ったとき、ガラベヤを着たおじさんが突然、「こんにちは、細川さん。さよなら、宮沢さん。ありがと、中曽根さん」、やや間をおき、ガックと小さくなって悲しそうな顔をして「さよなら、さよなら、さよなら、竹下さん」…。日本の政治の詳しさと、情報の速さに驚きました。

○酒に酔わずに会話に酔う

カイロの街の喫茶店には一日中、男たちがチャイや水煙草を飲みながらたむろしています。お話をたくさん語れる人が人気者です。

大気汚染の調査で捕集管を街なかに取り付けるとき、人目に触れずに行うのは至難の技でした。喫茶店ばかりでなく街角に日がな一日たむろしている男の人が多のです。また女性の井戸端会議は室内で行われるようで、旅行者の目には見えませんでした。

○喜捨—豊かな者は貧しい者へ

イスラム法で豊かな者は貧しい者へ、貧しい者はより貧しい者へ分け与える喜捨は、当然の行為です。ハウスで出る最も多いプラスチックゴミは、日本人が飲むミネラルウォーターのペットボトルです。(ヨーロッパ仕様ですから、数回使用可能の肉厚のペットボトル。)これを門番のムハマドは毎日家の中に集めていました。何に使うのかなと見てみると、通りがかりの人が「水をください」と 寄ったとき、このボトルに水を入れて「どうぞお持ちください」とあげていました。(水もボトルも高価なもの。)このような社会にシルバーシートは不要です。

○メンツ・名誉を重んじる

「アラブ人は瞬時に人間の上下関係を決める」と隊長から教えられました。様々な人種が集まって暮らしている人々。人間観察の鋭さといろいろな意味での人間関係の巧みさには、舌を卷きます。

このような社会では名誉はとても大切なこと。ものを買うとき、ケチをつけて値切ってはダメ。誉めて誉めて「この品物を日本に持ち帰り、あなたの名誉を伝えたい」と言って値切るのが得策と聞きましたが、アラビア語が伴わないため試すことはできませんでした。

(1) エジプトの厳しい自然環境

農業国とはいえ、緑はナイル沿岸のみに存在します。大部分の地域の年間降水量は5mm以下です。ルクソールやアスワンなどの内陸部では、平均気温 34℃・平均湿度 16%というデータを見るとあまりピンときませんが、40℃前後で乾燥しきった風が吹くときは身体ごとオーブントースターの中に入れられているようです。

このような思想を持つ人々に、国土を改造しようとか自然を征服しようとする発想は生まれません。

先進国と呼ばれる国々が永続可能な社会を唱える前に、彼らは無理なく実践しているのかもしれない。

When I bought a bottle of coke at a shop near the Temple of Karnak, Luxor, a man wearing *Gallabiyu* suddenly said, "Hello Mr. Hosokawa, good-bye Mr. Miyazawa and thank you Mr. Nakasone." Then in a while, continued with a sad look "Good-bye, good-bye, good-bye Mr. Takeshita." I was impressed that they had a detailed knowledge of Japanese politics and got news so quickly.

○Get drunk, not on liquor but on conversation

Men get together and drink chai or puff narghile all day long in coffee shops in Cairo. A person who knows a lot of stories wins popularity. When we set sampling pipes in town for research into atmospheric pollution, it was the hardest work not to be seen by people because many men gather not only in shops but also on street corners all day. On the other hand, women gather at home so that passers-by in the street can't see them having a housewives' gossip.

○Alms-from the rich to the poor

It is natural in the law of Islam for the rich to share with the poor and for the poor with even poorer people. The largest quantity of plastic garbage from a house is plastic bottles of mineral water such as Japanese people drink. (It is made in Europe and the bottles can be reused several times.) A doorman, Mohammed collects these bottles from houses everyday. I was wondering why. He uses them to share water when a passer-by asks him for some. (Both water and the bottle are expensive.) They definitely don't need silver seats for old people in this society.

○Value honor

The leader told me that an Arab could tell instantly who is a leader and who is a follower in a group of various races living together there. I was astonished at their sharp observation of people and clever human relations in many respects.

In this society honor is very important. When you buy something, you never beat down the price by throwing cold water on the object of sale. I heard it was wise to beat down the price by praising the goods a lot and saying "I want to bring this back to Japan and to show the Japanese how great your country is," but I couldn't try it because I didn't speak Arabic.

(3) The severe natural environment of Egypt

Egypt is an agricultural country but it is fertile only along the Nile River. Most of this country receives less than 5 mm of precipitation a year. It is not easy to imagine the heat from the average temperature of 34℃ and the average humidity of 16% in the interior of the country in places like Luxor or Aswan. It would be much easier to imagine that you were in an oven, baking at a temperature of around 40℃ and the driest wind.

Egyptians give no thought to the idea of reconstructing the country or conquering nature. While so-called developed nations urge a lasting society, the Egyptians seem to be putting this into practice without effort.

[translated by: Y. Morishita]

お料理レシピ NZ 風クリスマスケーキ

外石 弥生 (日本)

NZのお婆ちゃん(正確には元お隣さん)から教わったフルーツたっぷりのクリスマスケーキです。本来のクリスマスケーキはアイシングを施し日本の鏡餅の様に飾っておくものですから当然、長期保存に耐えられるように砂糖の量が多めです。フルーツ自体の甘さも加わりますので砂糖を半減しても良いでしょう。3 種類のレーズンが日本で揃わなくても他のフルーツで代用したり工夫して、自分の味を作ってみて下さい。私流はカーラントの量はほどほどに、1 種類のレーズンは必ずラム酒漬けにして使用します。最初は半分の量で試作されては如何でしょうか。また、作りたてより時間が経過した方が美味しくなります。

材料 (20cm 四方のケーキ型 1個分)

バター(225g)
ブラウンシュガー(300g)
鶏卵(6ヶ)
薄力粉(350g)
ベーキングパウダー(小匙2)
オールスパイス(大匙1)
シナモン(大匙1)
ナツメグ(小匙1)

[ドライフルーツ]
レーズン(225g)
カーラント(225g)
サルタナレーズン(450g)
ミックスピール(125g)
刻みアーモンド(125g)
砂糖漬けチェリー(125g)
*レモン又はオレンジのすりおろした皮(1個分)
(* はなくても問題ありません。)

シェリー酒またはブランディー(大匙2)

烹调法 新西兰风的圣诞蛋糕

外石 弥生 (日本)

NZ 婆婆真确的说是我的邻居教我做的什锦水果圣诞蛋糕。本来圣诞蛋糕和日本的镜子年糕一样，在过年时装饰品用的（过年的供品），为了长期保存，不腐，所以砂糖的用量就当然的多了。如果是一般做来吃的话，加上水果干本身的甜味。所以砂糖的量用一半就可以了。三种类的葡萄干可能在日本买不齐。可以用自己平时喜欢的水果干代用，这种蛋糕本来就是自己流派，没有什么特别规定。但是每一种葡萄干，或水果干都必须用兰姆酒浸泡一下才使用。最初做的时候少做点，做小点的比较好。认为味道很好吃的话，就做的大一点。开始小，然后大。做好了放上二、三天以后的味道要比刚出来就吃时更美味。不信的话二种在一起吃比较一下就知道了。

材料：20 公分四方型 1 个份

1 大匙：15cc 1 小匙：5cc

白脱 2 2 5 克
红糖 3 0 0 克
鸡蛋 6 个
小麦粉 3 5 0 克
发酵粉 2 小匙
胡椒粉 1 大匙
肉桂 1 大匙
豆蔻 1 小匙

[水果干]
葡萄干 2 2 5 克
无核小红葡萄干 2 2 5 克
无核淡黄葡萄干 4 5 0 克
什锦密饴 1 2 5 克
碎杏仁或胡桃 1 2 5 克
糖水樱桃 1 2 5 克
柠檬皮或甜橙皮 1 个份 (切细)：
如果没有也可以不要

Recipe RICH CHRISTMAS FRUIT CAKE

Ms. Yayoi SOTOISHI (Japan)

This is a recipe for a Rich Christmas Fruit Cake, which I learnt from my NZ grandmother (my ex-neighbour). The original Christmas cake should be coated with icing sugar to be displayed like 'Kagami-mochi,' so naturally the sugar content is high, in order to preserve the cake for a long time. It is a good idea to reduce the amount of sugar to half because the mixed fruit will add sweetness. Don't worry about using three kinds of raisins, as it may be difficult to find them in Japan. Find an alternative and create your own taste. When I make this cake I reduce the amount of currants and use only one kind of raisin, which I soak in rum.

At first, please try to make this recipe using half the amounts suggested. The taste of this cake improves with days.

Ingredients (to be baked in a 20cm cake tin)

225g butter
300g brown sugar
6 eggs
350g plain flour
2 teaspoons baking powder
1 tablespoon spice
1 tablespoon cinnamon
1 teaspoon nutmeg

[dried fruit mixture]
225g raisins
225 currants
450g sultanas
125g mixed peel
125g almonds
125g cherries
*Grated rind of 1 lemon or orange (optional)

South Wind

大匙 1: 15ml

小匙 1: 5ml

果酒或白兰地酒 2 大匙

2 tablespoons sherry or brandy

NB. Measurements - 1 tablespoon = 15 ml or 3 teaspoons in NZ and UK

作り方

1. バターとブラウンシュガーをクリーム状になるまでよく混ぜ合わせ、鶏卵を1つずつ入れ更に混ぜ合わせる。
2. ドライフルーツ及びお酒を1に加える。
3. 薄力粉とベーキングパウダー、オールスパイス、シナモン、ナツメグを一緒にふるい、2に加えさっくりと混ぜ合わせる。
4. 低温(125-140 度)のオーブンで3時間半から4時間かけて焼く。上記の材料を半分で作った場合は2時間半になります。

制做方法

- ① 白脱和红糖搅拌成酱状。然后把鸡蛋一个一个加入拌均。
- ② 水果干和酒全放进一里。
- ③ 小麦粉、发酵粉、胡椒粉、肉桂、豆蔻一起搅拌后全放进 2 里后拌均。
- ④ 用低温 (125—140 度) 的烤箱 烤上 3 个半小时到 4 个小时。既成如上记的材料用一半量做的话, 烤箱时间只要 2 个半小时就! 成了。

【翻译 石井 通惠】

Preparation

Preheat the oven 125°-140° C.

Line the tin with non-stick or brown paper.

1. Cream the butter and sugar together until light and fluffy. Gradually add the eggs and spices.
2. Then add all the fruit, nuts and liquor.
3. Next mix in the sifted flour and baking powder. Do not beat.
4. Turn the mixture into the prepared tin and bake for about 3 ½ - 4 hours.
5. To test if the cake is ready, place a skewer into the center of the cake, and it should come out clean. Leave the cake to cool in the tin.

NB If you reduce the ingredients to half, then the baking time is reduced to 2 ½ hours.



投稿募集

港区国際交流協会翻訳委員会では、紙上を意見発表/交換、討論の場として、多様性を認識し、一層深い理解と友好を互いに深め合うことを目的として「South Wind」を発行しています。皆さまの投稿をお待ちしております。

投稿方法

原稿は原則として日・英・中のいずれかを使用してください。

宛先

105-8511 港区芝公園 1-5-25
港区役所8階

港区国際交流協会事務局

South Wind 編集部

Fax: 03-3578-3537

E-mail: s-wind@minato-intl-assn.gr.jp

募稿

目前港区国际交流协会翻译委员会出版名叫“South Wind”的小报。基于不同国家之文化风俗等, 互相提出各种各样的意见, 把该报当着发表所交换所想讨论各个意见之场所, 进一步加深相互理解加强交流为其目的。欢迎各位积极投稿。

投稿方法

原稿原文请用下面的语言:

日语、英语、中国语

收件地址

105-8511 港区芝公園 1-5-25
港区役所 8 层

港区国际交流协会事務局

“South Wind”编辑部

Fax: 03-3578-3537

E-mail: s-wind@minato-intl-assn.gr.jp

Your Contribution is Welcome

By exchanging all kinds of various opinions with people, those who have different cultures or backgrounds, in the “South Wind,” we hope we are able to recognize diversity of our society and deepen our mutual understanding and friendship with each other. Please take full advantage of this opportunity to express your opinions!

How to contribute:

Please write your essay in Japanese, English or Chinese.

To send at:

C/O South Wind Editorial Room,
Minato International Association
Minato City Hall 8th Floor, 1-5-25
Shibakoen, Minato-ku, Tokyo
105-8511 (Fax: 03-3578-3537)
E-mail: s-wind@minato-intl-assn.gr.jp

港区今昔

港区の大名墓
その三
三田の寺院街へ

なかこういち (日本)

J Rの田町駅または地下鉄三田駅を第一京浜側に出る。通りを渡り、慶応大学方面へ、二分ほどで桜田通りに出ます。ここも直進すると、三叉路がある。左に上がっていくと「聖坂」です。

ここが港区の一大オカルトゾーン、三田の寺院街への入口です。

三十五もある寺院、メインストリートの「聖坂」、一步脇道へ入ると、寺院の長い土塀にはさまれ、人影もまばらな細い坂道、「幽霊坂」「蛇坂」「安全坂」。全身を白塗りに厚化粧した地藏。山門をくぐり、墓地に入ると、巨大な五輪塔や破風笠付き柱型の墓碑が立ち並ぶ大名墓などがこのエリアに存在します。

いかがですか。興味が湧いてきたでしょう。二、三回に分けて、このミステリアスな地域をご一緒に散策してみませんか。

「聖坂」(ひじりざか)

名前からも寺に関係があるとすぐ連想できます。

高野山の信仰を広めるため、全国を歩いた「高野聖」(こうやひじり)が開いたとも、あるいは、信仰と物質を流通させた「聖商人」(ひじりしょうにん)の宿があったからともいいます。家康が近世の東海道を慶長六年(1601)に開くまでの東海道、いえ、当時の道はすべて鎌倉に向っていたので、鎌倉街道だったのが、この台地を走る「聖坂」です。江戸時代の東海道はこの台地の下、海岸線に沿って造成された現在の第一京浜国道です。この坂は古くは「竹柴の坂」

港区今昔

港区的大名墓
(3)
到三田寺院街

Mr. Koichi NAKA (Japan)

核 JR 壓弥随嬭賜ハ仇鍵眉
弥嬭和概、隼朔貫及匪獎
鴛巷揃議筭竈栖。狛瀧揃吏伯
寄僥圭KK恠曾螢嶺恠嘔祥欺阻咤
弥寄瞬。壘吏恠恠祥頁眉我揃筭、
乏恠返恠祥欺阻“淵流”。緩侃祥
頁雇曝匪寄舞蜘蛛仇曝、宥吏眉
紡罅議秘筭。宸戰嗤眉噴励恙紡
罅詔鹿議、“淵流”寄瞬、刊狛都円
議弍祇、揃曾迦紡罅議釣能、佩繁
蓮富議弍流揃祇、軸“唧靈流”、
敷流”才”芦昌流”低辛參心欺畠
附頸易議仇茄No。刊狛表壇、恠序
長仇祥孀心欺賞寄議励恠満才寄
兆長。響欺宸戰ハ駅低厩将恢伏
佶箸阻杏?斑厘揮低断肇冥沫匯
和宸舞蜘蛛揮。

“淵流”

綱兆房内、辛參ハNo欺頁嚙
紡注嗤購議仇圭。象傍葎阻勸下
互勸表縮、怎治畠忽議互勸淵油
蝕悦議、勿嗤繁傍宸戰頁勸縮嚙
将斌議淵斌繁廖狛議仇圭。

伯海鎗定(1601 定)蟻寒社
慎蝕謡除弊叫今祇參念議銑花瞬
祇(輝扮恠嗤寄瞬霄宥吏銑花)祥
頁⑬壓議”淵流”。遇臭薩扮旗議
叫今祇了器⑬壓及匪獎鴛忽祇、
頁冽彭今幹キ遇俐秀議。緩流祇
參念各葎”幢会流”、峠芦扮旗議
兆广《厚親晩芝》貧祥嗤 1020
定錐畔膨定彈圻丐炎溺隅揃狛幢
会紡(⑬”葎今紡”)議秤尚、司溺
嚙冷茄竈伏議平汚暴閭吏狛議幸
去系倡吉吉頭干。嗤購臭薩扮旗
兜豚議流祇《匪訳会流》戾欺貫
眉弥眉供朕宥吏屈云複議揃干、
孔漣紡貧中議流祇。

眉弥議紡注鹿嶺壓淵流葎嶺
佶議現除。幢会紡(⑬壓議葎今紡)
祥了器宸厘揮。
紗貧壓緩仇佶秀議嗤芋垚紡才俐

A Look into Minato City The Tombs of the Feudal Lords (3) To Temples' district of Mita

Mr. Koichi Naka (Japan)

Take the exit leading to Daiichi Keihin National Highway from either Tamachi Station on the JR or Mita Station of the Metropolitan Subway. Cross the road and walk for about two minutes toward Keio University till you cross Sakurada-dori Avenue. Continue to go straight ahead and take a left turn at the junction of three streets. Soon you will reach the foot of “Hijiri-zaka Slope of Saints,” the entrance to the temple district of Mita.

In addition to the main street, Hijiri-zaka, there are narrow deserted byways named “Yurei-zaka – Slope of Ghosts,” “Hebi-zaka – Slope of Snakes” and “Anzen-zaka, Slope of Safety,” where long mud fences of temples face each other along both sides of the street. Among the 35 temples in this area, are particular ones, having white, elaborately made-up Jizo statues, quite a few graveyards for feudal lords with huge five-storied stupa and square gabled tomb stones, etc.

Don't you feel like visiting them? I would like to describe this mysterious district in two or three articles.

<Hijiri-zaka – Slope of Saints>

The name allows you to guess that it is a somewhat holy slope. It is said to have been opened by bonzes called “Koya-hijiri,” or saints of Koya, who were sent from Mt. Koya to propagate the holy Buddhist teachings originating in the mountains of present-day Wakayama prefecture. It also gives

といわれ、平安時代に書かれた『更科日記』（さらしなにつき）に早くも登場します。寛仁四年（1020）菅原孝標（すがわらたかすえ）の娘が、この地を通して、竹柴寺（現；済海寺）や、皇女と武蔵出身の兵士が駆け落ちしてきて住んだという御殿の廃虚のことなどを、日記に書き留めています。

江戸時代初期の「坂」のことを記した『柴の一本』という本にも「三田の三丁目より二本榎への道筋、功運寺という寺の上の坂をいう」とあります。

三田の寺町は聖坂が真中を通る台地の左右に広がっています。この地に古くからあったのが、前記の竹柴寺、現在の済海寺です。現地で創立されたのは明円寺、開創不祥の幸福寺と共に三寺のみです。その他の大部分は寛永十二年（1635）、京橋八丁堀にあった寺々が、同地に与力、同心町が出来るので、強制移転させられてきたのです。参勤交代制の確立で、多数の大名邸が必要になり、そのしわ寄せになったようです。

当時の港区は江戸の中心地ではなく、外れの周辺地でした。現在の三田三、四丁目は、旧名では、三田北寺町、三田南寺町で、この時代に計画的に造成された寺院街なのです。二つの町の周辺の三田功運町、三田台町、三田裏台町、三田豊岡町、三田松坂町に寺が軒を接しています。今は寺地の部分はずっと狭められて、道路に沿った部分はビル、マンション、一般住宅になっており、車で通り過ぎると寺の存在に気付かないかもしれませんが、歩いてみると寺と墓地が続く街です。

「月の岬」

少し「聖坂」から寄り道したようです。元へ戻りましょう。この台地は「月の岬」と呼ばれ

秀扮寂音^{ドル}議侑牽紡匪慌眉恙紡注。風磨謹葎頁1635 定錐喟噴屈定寂，了器奨播伊供条議紡注頁咀葎俐秀乎嚙薦才揖伉隨遇瓜衣濡泊栖議。辛參心竈咀葎冀佩歌輩住旗崙、倣勤俯謹寄兆俐秀幸去啞^説欺輝仇紡注議質蘭。

輝扮議履曝了器喧宜臭薩廓靳伉議仇^糶，⑬壓議眉弥眉，膨供朕頁參念祥出眉弥臼紡隨。眉弥摑紡隨軸輝扮号血佶秀議紡^瞬瞬。現除議眉弥孔溼隨、弥岬隨、弥戰岬隨、眉弥乾跨隨、眉弥防梳隨吉脅頁想肝萌曳。⑬壓紡注曝議号^庁勳曳參念弑誼謹，遇^擇冽彭瀧掬固阻俯謹促型，促參核概掬^拍扮勿俯廣^喧音欺紡注瞬議質^壓壓，徽泌惚化佩祥孀心需紡注嚙長仇議尚^佻錢。

“堦甬”

“堦甬”奚将頁浜堦議挫仇圭，油傍⑬壓議及匪奨駕祇掬議念中頁臭薩羅，辛參心欺今貧伏芋堦議彝尚。嘔円唾根忱・購叫艶^坪、噸錢輿僥^坪、曝蔑履靳僥。親璃蒙寄間鋼匪揮奚頁1640 定芦喟噴鈍定俐秀議孔溼紡議準峽。乎紡注才葎今紡脅頁“淵流”旗燕紡注，徽1921 定寄屎噴定瓜衣濡靳勸曝阻。徽乎紡注兆各“眉弥孔溼隨”匪岬隱藻欺及屈肝弊順寄^嬉參朔。嗤購乎曾紡注臭薩扮旗議拐腹豚辛參頁1836 定爺隱鈍定”臭薩兆促夕紙”戰海紅寒偕稀議兆^鮫靳^説No欺。

“汐見流”

貫“唾根忱”念中吏嘔円恠^祥欺阻“汐見流”。徽⑬壓頁肖耐曝，遇^擇喇器野今^多仇，促參^厮将心音欺寄今阻。

“芦畠流”

刊^拍僥伏凡^曝曝，吏臼円咤弥寄瞬鍵流^祥頁”芦畠流”。葎焚担各葎芦畠流^椿？咀葎象緩流^掬奚将嗤恙芦畠紡，促參^祥委”芦畠紡”匪揮酒各葎”芦畠流”。

“敷流”

泌惚乏芦畠流恠貧栖，辛參心欺嘔円嗤海溼紡、寄防紡、廉茄

credit to Hijiri-shonin, the sainted merchants who stayed in the inns around here to bring in merchandise and religion at the same time.

Until 1601, when the Shogun Ieyasu ordered construction of the Tokaido Highway, or the present Daiichi-Keihin National Highway, that ran along the coast of the Pacific; Hijiri-zaka had been a part of the main street crossing the plateau and leading to Kamakura, the capital of the Shogunate.

This slope had previously been called “slope of Takeshiba” and had been noted as early as in the “Sarashina-Nikki — Journal Sarashina” written by a daughter of Sugawara Takasue in 1020 when she passed through this area. In her journal, she mentioned Takeshiba Temple (the present Saikaji Temple) and the ruins of the residence where an imperial princess hid herself to live with her loving soldier from Musashi Province.

Another reference appears in “A slope of Shiba,” compiled in the early Edo period. It describes the slope as stretching between Mita 3-chome and Nihon Enoki above the precincts of Kounji Temple.

The temple district of Mita extends down both sides of the plateau, in the middle of which runs Hijiri-zaka slope.

Takeshiba Temple was already there and is known as Saikaji Temple today, as I mentioned earlier. Only three temples were actually founded there: Takeshiba Temple, Myoenji Temple and Kofukuji Temple, whose original records have been lost. A 1635 decree forced most of the other temples to move there from the Kyobashi-Hatchobori area, that was to be redeveloped as town for Yoriki and Doshin samurai engaged in administration and

た月見の名所で、現在の第一京浜の先は江戸湾で、海に出る月を楽しんだそうです。

右手の「阿含宗・関東別院」、「普連土学園」、「区立港中学校」、「クウエート大使館」がある場所は、安永十七年（1640）よりこの地にあった功運寺の寺域跡です。同寺は済海寺と並んで「聖坂」の代表寺だったが、大正十年（1921）、中野区に移転した。寺名のみは三田功運町として第二次大戦後まで残っています。この二つの寺が江戸時代に盛んであった様子は、『江戸名所図絵』天保七年（1836）の長谷川雪旦（はせがわせったん）の挿絵で、詳しくうかがえます。

「汐見坂」

「阿含宗」の手前を右へ上がっていく「汐見坂」。でも今はマンションが立ち並び、埋め立てられ、海岸線も遠くなり、海は見えません。

坂を上りきった所に、かつては、讃岐松平邸があった。敷地の高所の屋敷があった部分は、現在もそのゆかりか、「香川県育英会・東京学生寮」になっています。

「安全坂」

学生寮の敷地内を失礼して通り抜ける。台地の崖下を縫うように北側の桜田通りへ下っていくのが「安全坂」です。

どうして安全なのか。今は無いが、この坂の西側に安全寺があったので、「安全寺坂」、略して「安全坂」となったといえます。

「蛇坂」

この坂を下らずに反対に上がっていく。右側は長運寺、大松寺、西藏院、長延寺と、寺と墓地ばかり。左手の普連土学園の建物の下を通り、道は一層狭くなり、港中学校の敷地の裏手で直角に右に曲がる。

坪、海決紡吉紡注才長仇。恣円噸錢平僥坪議和中揃延誼載姚、隼朔貫雇嶺僥議朔中吏嘔円岷衡。揃曾都脅貢紡坪絶絶賠賠議釣能、辛參心欺初府洩揃兆喇栖議直免貧中亟欺”參念嗟俯謹敦貢課還龜栖、促參出敷壳”。

涙胎陳匯訳洩脅貢掲械姚、峪孀宥狍匯曾式概、貫洩和議咤弥寄瞬軟葎汽佩^キ。俯謹廖型脅貢仟秀議、徹洩揃才長仇孚圻^{ドル}誼藻和栖。

⑬壓俐秀揃俯謹繁音誼音衣濡、賜^ハ梓俐揃隼朔号皿廖姪曝、遇臭薩扮旗拔單梓深打肖酌議伏試、貫宸戰議紡注瞬低辛參悶氏欺書劣岷音揖。

佚化器柁窟彭敵搾臭薩扮旗賑連議淵洩仇曝、伋秤湖欺掲械^キ才、勿湖欺扮高議送陸。

和肝彈姥初府嗟膨恫寄兆長議紡坪、陳倅長脅嗤匯^キ竿簪療。和肝壅需。

【歟咎：直既 剩徨】

not be aware of the temples and graveyards which still exist if you pass there in a car.

<Promontory to view the moon>

Now, let's come back to the foot of Hijiri-zaka slope. The top of this slope was called "Promontory to view the moon." From there, people used to enjoy toadmire the moon rising above the seas of Edo Bay that opened beyond the present Daiichi Keihin National Highway. The Kanto district branch of the Agon Buddhist sect, Friend Gakuen Girls' High School and the Kuwait Embassy are located in the ancient precincts of Kounji Temple, which had been there since 1640. This temple, together with Saikaiji Temple, stood out among many other temples along Hijiri-zaka slope until it moved to Nakano-ku in 1921. Its name remained, however, in the town, Mita Koun-cho, until the end of the World War II. You can well imagine the prosperity of these two temples if you look into "Scenic Spots of Edo" compiled in 1836 with detailed illustrations by the artist, Hasegawa Settan.

<Shiomi-zaka — Slope to observe the tide>

Shiomi-zaka slope begins just by the building for the Agon Buddhist sect and goes up alongside it. The slope's name hints at a view of the sea but nobody would remember it now. Big apartment buildings rise along the slope and block our view down toward the sea, which has become much farther away due to reclamation.

At the dead end of the slope used to stand the residence of Lord Matsudaira from Sanuki Province (present Kagawa Prefecture). As a token of the ancient owner, the upper part of the area where the main wing of his residence used to stand is now a dormitory for students who left Kagawa Prefecture to study in Tokyo.

右も左も寺院の土堀が続く寂しい坂道です。坂名の由来を記した木標が立っています。「かつて藪が多く、蛇が出たので蛇坂」。さもありなんという坂です。

いずれの坂も、小型軽自動車一台、やっと通れる、くねくね曲がった細い道で、坂下の桜田通りからの一方通行になっている。

人の住む家屋は建て替えられ、時代とともに変わっていくが、坂道と墓地はそのままの形で残される。

江戸の道は、現在のように、建物を立ち退かせてバイパスを通したり、あるいは、まず計画的に道路を作り、そこに人が後から移り住むのではない。住居に沿うように、人間の営みを第一次に通されたことが、この寺院街の道で体感できます。

江戸の名残を色濃く留めたこの周辺を歩いていると、時間もゆったり流れていきます。この稿のテーマである、大名の墓がある寺に行き着く前に、与えられた原稿枚数に達してしまいました。

この寺院街では、四か所の大名墓がある寺をご紹介しますつもりです。いずれの墓も、興味あるエピソードを秘めています。次回の探訪をお楽しみに。

<Anzen-zaka – Slope of Safety>

Let's excuse ourselves and cut through the compound for the students' dormitory to reach the middle of Anzen-zaka, or slope of Safety, that connects with Sakurada-dori Avenue in the north. Is it safe to walk on this narrow slope underneath the edge of a precipice? Its name originated from Anzenji Temple that used to exist on the western side of the slope. You don't find the temple any longer, but the slope keeps its name in the shortened form of Anzenji-zaka.

<Hebi-zaka – Slope of Snakes>

Go up Anzen-zaka slope in the opposite direction. On the right side of the slope, there are quite a few temples and their graveyards: Chounji, Daishoji, Saizoin, Choenji and so on. Pass underneath Friend Gakuen Girls' High School and the slope becomes even narrower and curves 90 degrees to the right behind Minato Junior High School. You are now on another deserted slope with temple fences on both sides. A signpost reads: "This is Hebi-zaka or Slope of Snakes, since the area was the nest of snakes covered by bushes"—a rather persuasive description.

All these slopes are narrow zigzags allowing only small cars to enter from Sakurada-dori Avenue. The residences have been rebuilt and changed in form as time passed, but these slopes and graveyards have been kept as they were. Nowadays urban development has forced people to concede their dwellings to new roads or move in after the area is prepared. But while you walk on these small ways in the temple district of Mita, you realize that during the Edo period, people settled first and the streets were constructed to connect them afterwards.

I have taken too much time walking leisurely around here, looking for some remains from the Edo period. I have already consumed the limit of pages I may write, and have not yet reached the temples that keep the tombs of feudal lords corresponding to the title of this small essay.

Allow me show you four particular temples in the Mita area and talk about interesting episodes concerning several tombs of feudal lords there in the coming issues of South Wind.

[translated by: Y. Nakano]

港区国際交流協会 交流サロンのご案内

外国人と日本人が自由におしゃべりする場として、毎月第二火曜日の夜、「交流サロン」を開いています。200 円程度のスナック菓子をご持参の上、ご参加ください。(Tel. 03-3578-3530)

12月12日(火) 午後7時30分～9時 港区役所 9階 914会議室

1月9日(火) " " " "

2月13日(火) " " " "

住送経霜快連

为了促进 外国人和日本人的交流 每月的第二个星期二晚上 以下时间举办交流沙龙 届时请邀请朋友一起参加。沙龙时间是交流委员会会议(下午6:30开始 参加自由)结束之后的下午7:30-9:00。参加者请携带200日元左右的小吃参加。

12月12日(星期二) 于港区区役所 9楼 914会议室

1月9日(星期二) 于港区区役所 9楼 914会议室

2月13日(星期二) 于港区区役所 9楼 914会议室 (Tel. 03-3578-3530)

M.I.A. Chatting Room – Let's talk over a cup of tea!

We very much welcome your attendance at our M.I.A. Chatting Room. Every 2nd Tuesday of each months are your time to come across the mutual understanding and communication between Japanese and non-Japanese residents. Feel free to visit the space, and please bring snacks of 200 yen worth with you. (Tel. 03-3578-3530)

December 12 (Tue.), January 9 (Tue.), February 13 (Tue.), 19:30 – 21:00, Minato City Hall 9th floor, #914

バンコクの四方八方
微笑みの国タイから
(5)
雲海美酒

岩船 雅美 (日本)

【9月13日記】

4 週間続けて葬式をやった。もうくたくたである。この8月に、闘病生活を送っていた父母が相次いで他界、もっと正確にいうと、母が8月第1週に亡くなり、その2週間後の第3週に父が亡くなった。ところが、ああ悲しいと閉じこもってはいられないのが葬式である。まずは今週埼玉県で母の密葬、そして翌週菩提寺のある秋田県で本葬、なんとかやってあー一息と思ったら今度は父が亡くなった。またも密葬→本葬である。まったくもって我が奔走といった具合だ。

これではわかりにくいですね、箇条書きにしましょう。

- 8月第1週：母他界→埼玉で密葬
- 第2週：秋田県で母の本葬
- 第3週：父他界→埼玉で密葬
- 第4週：秋田県で父の本葬

この間、僕は仕事を休職して、父母が居を構えていた埼玉県に帰ってきた。タイ人は家族を大切にする。8月は仕事が特に忙しい時期なのだが、快く休職を認めてくださりフォローしてくださった。モン族の方々は、大きな白い布に刺繍をほどこし、哀悼のメッセージにそれぞれ署名を寄せ書きして送ってくださった。亡き父母は、ご先祖のみならずモンの精霊にも導かれたかもしれない。すると、三途の川とはメコン川であったか。

しかしまあ、これだけ経験を積んだらもう葬式のスペシャリストである。葬式コンサルタントとして食べていけるかと思い、葬式の本をいくつか読んでみた

曼谷的四面八方
来自微笑的泰国
(4)
云海美酒

岩船 雅美 (日本)

(9月13日日记)

连 续4周的葬礼，疲劳之极。8月的第一周先是母亲病逝，2周后的第3周父亲也告别了人世。顾不上悲痛，这周是埼玉的密葬，下周是有菩提寺的秋田县举行本葬，以为可以息一口气了，没想到接着是父亲病逝，又是密葬→本葬。

归纳如下：

- 8月第一周： 母亲病逝→埼玉县密葬
- 第二周： 秋田县母亲本葬
- 第三周： 父亲病逝→埼玉县密葬
- 第四周： 秋田县父亲本葬

这段时间我不得不休息回到了父母居住的埼玉县。泰国人都很重视家庭。8月虽然特别忙但还是很爽快同意我休息。

蒙族同事在很大的白布上刺绣，并写上悼词。在黄泉路上引路的可能不止有祖先的灵魂，可能还有蒙族的神灵在为父母引路。不禁会想，簋巷河会不会曾是三途河呢？

办了这么多的葬礼也可以称专家了。开葬礼咨询公司说不定能混口饭吃。也读了几本葬礼的书，听说现在有宇宙葬。就是把尸体装棺以后，用火箭送入卫星轨道绕地球旋转。听说最后还是进入大气层烧毁。当我们仰望夜空时说：“某某人成为星星了”。这已不是幻想。父母是传统葬礼，而不是高科技葬。

对父母的思念很多。特别是父亲临终的前一天，我因急事必须回曼谷，和父亲握手告别说：

“过3、4天就回来”。那时父亲病情稳定，能坐在床上说话。没想到第2天早上病情急剧恶化，

All Directions of Bangkok
From Thailand – A Pleasing Country
(5)
Dainty Sake Over A Sea of Clouds

Mr. Masami IWAFUNE (Japan)

[September 13, 2000]

I've just been to four funerals in a row. I'm exhausted. My parents, who had been receiving medical treatment, passed away one after the other in August this year. My mother died in the first week of August and my father passed away two weeks after that, in the third week. The preparations required for the funerals made it hard for me to lock myself up in my personal grief, having first a funeral held by just the family members one week in Saitama Prefecture, and then a formal funeral the following week in Akita Prefecture, where our family temple is located. The first two funerals went off without incident and before I could compose myself my father was gone, and the family and formal funerals were carried out again. All of the preparations and ceremony took up a lot of time and energy.

I'll itemize the events here, in case you haven't been able to follow so far what took place.

- First week of August: my mother passed away – family funeral in Saitama
- Second week of August: formal funeral in Akita
- Third week of August: my father died – family funeral in Saitama
- Fourth week of August: formal funeral in Akita

During this time, I was home on leave in Saitama where my

ら、最近は自然葬とか宇宙葬とかいうものがあるという。宇宙葬というのは、遺骨を詰めたカプセルをロケットで打ち上げ、衛星軌道を周回させるのだそうで、いつかは大気圏に突入して燃え尽きるのだという。われわれが夜空を見上げて「ナニガシさんは星になった」というのはもう現実の話なのである。父母の葬式は、トラディショナルなスタイルであったから、そのようなハイテクにはついていけないと、考えを改めた。

それはともかくとして、両親への心残りは大変にたくさんあるのだが、特に言えば、父が亡くなる前日、僕は急用でバンコクに飛んでしまっていた。「3～4日で帰ってくるから」と父に言い握手して別れたのだ。このとき父は病状も落ち着いていて、ベッドの上に起き上がって話もできた。ところが翌朝に突然危篤となり、夕方には帰らぬ人となってしまった。父が最後に僕に言った言葉は、「俺は必ず治るから、お前は自分の仕事に励め」だった。母の最期の言葉は「みなさんおやすみなさい」であり、2人とも決まりすぎであるから、もしかしたら予め考えておいたのかもしれない。僕も何か準備しておこうと思っているが、なかなかこれといった言葉はないもので、何かいいのがあったら教えてください。

さて親が死ぬと、自分が相続人であることを証明する必要がある。その証明手段は戸籍+住民票+印鑑登録証明書が基本である。ここで問題が起こった。僕はバンコク住まいで、日本国内に住所がない。住民票がない。印鑑登録もない。もちろん戸籍はあります。このような人間を称して非居住者というそうです。そこで調べていくと、在タイ日本大使館が発行する「在留証明

傍晚就告别了人世。父亲最后对我说的话是：“我会好的，你好好干好自己的工作”。而母亲最后对我说的则是：“晚安”。二人说的话都好像事先想好似的。如果我要想好在那种情形说的话，可是件难事。

父母双亡后我成了遗产继承人。必须提出户籍证明，居民票和印章登录证明。这下可出问题了。我因为住在曼谷，在日本国内没住所，也就是所谓的非居住者。无居民票也没有印章登录证明，当然户籍是有的。打听以后才知道，驻泰日本使馆发行的在住证明书可代替居民票，签字证明可代替印章登录证明。可是申请邮送不行，一定要自己本人拿着护照去申请。去曼谷办不是说去就能去，幸好正巧有事会曼谷。本稿就是在飞机上写的。

8、9月从成田到曼谷的机票特别紧张，经济舱根本买不到。没办法只好花大钱买商务舱。商务舱可舒服了。快餐也跟经济舱不一样，有日本酒，而且是岩手县的铭酒“滨千鸟”。那种感觉自己仿佛成了大人物。从机上的大屏幕获悉，现在在奄美大岛。在几千米的高空喝着千鸟，两脚变得轻飘飘的，那种感真是妙极了。想道到了曼谷后还有事情要干，不敢开怀畅饮。想得入神，我仿佛看到喜欢喝酒的父亲在对我微笑。

【翻译：海棠】

parents lived. Thai people are very considerate when it comes to family. They willingly let me return home and supported me a lot, even though they were hard pressed by their own work commitments, particularly in August, which is a busy month. The Hmong people embroidered a large white sheet of cloth, each of them offering their condolences and signing it. My late parents might have been led by the spirit of the Hmong as well as by our own ancestors. I wonder if the Mekong River shares the same significance as the River Styx.

Given my recent experiences, from hereon I think I can probably call myself a consultant of funerals. I have also consulted some books on funerals and found out that natural or space funerals are kind of trendy these days. What is a space funeral? You launch a rocket with a capsule packed with ashes into orbit, which some day will rush into the atmosphere and burn out. And then we can say, “Mr./Ms. so-and-so has become a star.” Upon reflection, I can hardly keep up with this high technology. My parents’ funerals were both very traditional.

Leaving my parents had always been difficult, particularly when I flew to Bangkok on pressing business the very day before my father died. I shook hands with him saying I’d be back in a few days. His condition seemed less serious then, and he was sitting up in his bed. However he fell into a critical condition the next morning and went to a better world in the evening. My father’s last words to me were, “I’ll get well all right and you work hard and do your best.” My mother’s were, “Good night, everybody.” Both were opportune, and I’m wondering now if they had prepared beforehand for those to be their last words to me. I hope I have mine ready when the time comes, but so far I haven’t come up with anything good. Please let me know if you have any ideas.

With my parents’ death there also came the need for me to prove that I am the legal heir. The basic proof is a combination of a family register, resident registration, and the certificate of your seal impression. This was a problem

書」が住民票の代わり、「サイン証明書」が印鑑登録書の代わりになることがわかった。そこで日本大使館に問い合わせたら、郵送での申請は受け付けられないので、パスポートを持ってバンコクまでいかねばならぬ。交通費だって結構なものだからそう簡単には行き来できないのだが、ちょうど他にも急用ができたから、急いでバンコクへと戻ることにした。この原稿はその機上で書いている。

ところで、8月から9月の成田ーバンコク間の飛行機はずいぶんと予約がつかまっていて、どうにもエコノミークラスのチケットが手配できないから、仕方なく大枚はたいてビジネスクラスにした。するとどうでしょう、ビジネスクラスって大層に快適なものなんです！機内食もエコノミークラスとは大違いだ。日本酒だってついてくる。それも岩手県の銘酒、「浜千鳥」であるから小躍りしたい気分である。窓外の雲海を眺めながら銘酒を献けていると、贅沢しなれないものだから、自分が大人物になったような妄想を抱く。機内の大スクリーンによると、現在奄美大島の上空であるという。地上数千メートルで千鳥、っていうのもオツだねえ、なんて独り言を呟いてみるが、千鳥足になって足を踏み外しちゃあたまらない、まだまだこちとらやりたいことがあるんだから、ほどほどにしておかないとな、なんて考えた。すると、ふと、酒好きだった父が笑ったような気がした。

for me, as I live in Bangkok and therefore am not registered in Japan as a resident, and don't have a certificate of my seal impression. The only proof I have is my family registration. People like me are called "non-residents." I made some inquiries and found out that a Certificate of Residence and certificate authenticating my signature issued by the Japanese Embassy in Thailand will suffice. However, the Embassy said they don't accept applications by mail, which means I have to present myself in person at the Embassy in Bangkok. It's really something for me to be going back and forth so often, since transportation itself is not cheap! However, by chance some other urgent business came up, and as I write I'm heading for Bangkok.

As it happens the Narita to Bangkok flights in August and September are full, so I was forced to pay a great deal of money for a business-class ticket in order to get a flight to Bangkok during this time. But guess what? How pleasant and comfortable it is being in a business-class seat! The food is gorgeous, and is served with Japanese sake. Furthermore the sake is "Hama-chidori (a kind of tiny birds observed at seashore)," a noted brand from Iwate Prefecture. I felt really good and wanted to jump for joy.

Not being used to such high living, I enjoyed a daydream of having become a man of substance when I had a cup of high-quality sake looking over a sea of clouds. The huge screen said we were flying over Amami-Oshima. I muttered to myself, "It's smart to drink 'Chidori' at the height of thousands of meters," "It's terrible to toddle like a 'Chidori' and miss my step," "I still have a lot of things to do," and "I need to behave properly." And I had the feeling that my father, who loved sake, was smiling.

[translated by: M. Kawashima]

NB River Styx: According to The Oxford Dictionary, the River Styx (pronounced stiks) is from Greek mythology, and is one of the rivers of the Underworld, over which the ferryman, Charon, ferried the souls of the dead. Buddhist people also believe in this imaginary river, and that the deceased should cross it to reach the other world.



グアナファトから
こんにちは！
-メキシコ便り-
(8)

小野田 マサ子
(日本)

[9月3日記]

標 高2000メートル
に位置するここ
グアナファトは、一日の
気温の変化が激しく、9
月に入っても夜間と日
中の気温は15度以上と
大きく開いています。朝
は車のフロントガラスに
霜が降りていますが、日
中の日向の暑さは大変
なものです。そんな日ざ
しのきつい町中で、赤
ちゃんを抱いた人達を
たくさん見かけます。殆
どの人達が、赤ちゃんを
外気に当てないために
白っぽい布ですっぽり、
足の先から頭の先まで
包み込んでいます。背
中におぶっている姿は
殆ど見かけません。また
男性が抱いていることも
日本にくらべると格段に
多い様に思います。嬉
しい事にこうした赤
ちゃんを抱いた人がバ
スに乗ると、抱いている
のが女性か男性かに関
わらず、殆ど場合は
誰かが席を譲っていま
す。またバスの乗り降り
に付いても、赤ちゃん連
れは一步譲ってもらえ
ていますし、高齢者や
身体の不自由な人、大
きな荷物を持っている
人達には車掌さんだけ
でなく近くにいる若者が
手を差し伸べているの
がしばしば見られます。

从瓜纳发托致敬
—墨西哥通讯—
(8)

小野田 Masako
(日本)

[9月3日]

位 于海拔2000
米高的瓜纳
发托。朝夕温差悬殊
甚大。时序9月后。
昼夜温度落差竟达1
5度以上。早晨。车
窗的玻璃还蒙上了一
层霜。而至中午却变
为炎热的日照了。在
这 燥热 难耐的城镇
上。随处可见抱着婴
儿的光景。几乎所有
的人为避免婴儿直接
接触外界。均以近白
颜色的布将婴儿从足
至首包紧。几乎也见
不着背着婴儿的人
们。而且。男性抱婴
儿者。也较日本普通
可见。尤其。令人欢
喜之事是。无论男、
女。只要手抱婴儿
者。搭乘公车时几乎
有人让座。而且上。
下车之际。大家也都
让行。若有年长或身
障者。或携带大行李
者。不只车掌。近处
的年轻人一定助他们
一臂之力。对知晓日
本设有「优先席」现
况者而言。除了感到
温馨外。也深深受表
里一致的善良之心感
动。

许多外国人常说
「日本人真亲切」但
是。假以时日。当他
们稍待一段时间时。
他们便换说：「其实。

SALUDOS
DESDE
GUANAJUATO
(8)

Sra. Masako ONODA
(Japón)

[3 de septiembre del 2000]

En Guanajuato, que
se sitúa a casi
2.000 metros sobre el
nivel del mar, nosotros
experimentamos una
diferencia grande en la
temperatura durante el
día. Aún a principios de
septiembre, nosotros
tenemos más de 15
grados centígrados de
diferencia entre el día y
la noche. En la mañana
vemos que se cubren de
escarcha los parabrisas,
pero en el día vemos que
está muy caliente,
especialmente en el sol.
Bajo este sol tan fuerte,
veo a muchas personas
que llevan a sus bebés
en brazos por toda la
ciudad. Casi todos ellos
envuelven a sus bebés
en una cobija
blanquecina de la cabeza
a los pies para que los
bebés no estén
expuestos al aire. Es raro
ver que alguien lleve a su
bebé en la espalda.
Advierto que hay mucho
más hombres que cargan
a sus bebés aquí en
México que en Japón. Me
complació ver que
alguien casi siempre
cede su asiento en el
camión a alguien que
carga a su bebé, ya sea

Hello from
Guanajuato
-A letter from Mexico-
(8)

Ms. Masako Onoda
(Japan)

[September 3, 2000]

In Guanajuato, which is
situated about 2,000
meters above sea level,
we experience big
differences in the
temperature during the
day. Even in early
September, there is more
than a 15°C difference in
temperature between day
and night. In the
morning we see frost on
the windshield, but in the
daytime it is very hot,
especially out in the sun.

Under such strong
sunshine, I see many
people carrying their
babies in their arms
around the city. Almost
all of them wrap up their
babies with a whitish
cloth from the tip of the
toe to the top of the head
so that they may not
expose their babies to
the air. It is unusual to
see someone carry their
baby on their back. I
notice that there are by
far more men who carry
their babies here in
Mexico than in Japan.
I am pleased to see that
someone will usually give
up their seat on the bus
to someone who is
carrying their baby
whether it is a woman or
man, and also give
priority to a person with a
child when they are
getting on or off a bus.
This courtesy is extended
not only to parents, but
also towards the elderly,
the physically disabled,
and also for people who

日本の優先席の現状を知る者にとってはとてもホッとする嬉しい瞬間です。本物の優しさが残っている様に思われます。

「日本人は親切だ」と外国の方からよく言われます。また「その実、どこかで壁を感じる」と少し長く滞在していっしょの方から言われます。「最初はいいんだけどね…」と。考えさせられる言葉です。私の短い経験を通してでも、メキシコの人達は本当に暖かいのです。中に少し傾向の違う人も勿論居ますけれど、大方は本当に優しいのです。こんな事がありましたというのを幾つか拾ってみましょう。

従来から痛かった腰が悪くなった時のことを考えただけでもたくさん例があげられます。まず、友人の家に伺った時のこと、痛みに効くからと親戚の人がわざわざ山の中に入って採って来てくれたと言う薬を初対面の私に友人のお母さんが惜しげもなく分けて下さいました。別の方は、隣街の「名医」を紹介して下さいました。グアナフアトから1時間程のバスターミナルで出迎えて下さったその方の妹さんは、それまで殆ど個人的な話をした事のない方でしたが、その日半日以上をずっと付き添って下さり、まだ言葉の不自由な私を何かと面倒見て下さいました。ドクターとの2度目の約

と日本人有隔」。「起初很好相处，然而…」类此令人省思的言辞来。尽管我未久居墨西哥，却亲体他们诚挚的热诚。当然，亦有少数例外者，但大体他们都十分友善的，让我携手叙述几件我的亲身体验实例吧。

想到长久腰痛之事，便有几个难忘的例子。首先是我拜访友人住处时，其母亲专程至亲戚家山中，去采摘能治愈腰痛的药送给初见面的我。有人则介绍其邻街的「名医」给我。这位朋友的令妹尚未与我有过私人的交谈，当天却花一个小时从公车总站来接我，而且耗去半天以上时间陪同我，还照顾语言尚不流利的我：当我与医师约好第二次医疗时，没想到当天她又在公车总站等候我，陪伴我半天之外，还到她府上招待我用餐。加之，瓜纳华托的按摩师因已高龄，力度不够，她还特别介绍坐公车单程就花了小时的按摩师给我。从早陪同我去看按摩师，既不让我替她出公车钱，也不让我请用餐，却一整天为我而东奔西走。

当我发生事故时，接到现场看到我的友人的联络而赶来，看我的二位友人，有一位每天一定从邻街来嘘寒问暖，另一位医师则认为只有按摩

una mujer o un hombre. También, cuando ellos se suben o bajan de un camión, la gente generalmente les da prioridad. Esto no es sólo para los padres, se hace también para los mayores, las personas con desventajas físicas y también para la gente que carga algo muy grande o pesado. El conductor, y también algunos jóvenes cerca de ellos, tienden la mano para ayudarlas. Para los que saben la situación actual sobre el uso del "Yusen-seki"(asiento de prioridad) en Japón, es un momento conmovedor ver tal escena. Me parece que permanece todavía la ternura verdadera aquí.

A veces yo oigo de los extranjeros: "La gente japonesa es muy amable." Oigo también de algunos que permanecieron en Japón por un poco más tiempo esto: "Nosotros sentimos que todavía hay una especie de muro entre los japoneses y nosotros mismos." También la gente dice: "Al principio, había una relación muy buena, pero después..." Éstas son la clase de palabras a cerca de las que necesitamos pensar. Aunque mi permanencia aquí no ha sido muy larga, he encontrado que los mexicanos son muy afectuosos. Apreciaría

are holding a heavy load. The conductor and also some young men nearby will usually give a helping hand.

For those who know the present situation regarding the use of the "Yusen-seki/courtesy seat" in Japan, it is a touching moment to see such a scene. It seems to me that there still remains genuine concern here.

Sometimes I hear from foreign people, "Japanese people are very kind." But I also hear from foreign people who stayed in Japan for some time that "We still feel there is a kind of wall between the Japanese and ourselves." Also people say, "In the beginning, there was a very good relationship...but then..." These are the kind of words we need to think about. Although my stay here has not been very long, already I have found that Mexicans are very warm-hearted. I would like to highlight some of my experiences here.

There have been many occasions that I can tell of people's kindness; one of these was when I had a backache. When I was visiting one of my friends, his mother, whom I met for the first time, was very generous and gave me some medicine, saying that it would help my backache. It turned out that a relative of theirs had gone all the way into the mountains to get this medicine.

Another person introduced me to a "celebrated doctor" from a neighboring city. When I got off the bus at the bus-terminal about one hour from my city,

束の日にバスターミナルを出ると思い掛けな
い事にその方がまた
待っていて下さり、また
半日を付き添って下さ
った上に、午後の食事
にお宅まで連れて行っ
て下さいました。また、
グアナフートのマッサー
ジ師さんは御高齢のこと
でも有り、自分の力では
これ以上は一寸難しい
からもっと上手な人に紹
介したいと言って、バス
で片道3時間の街まで
朝早くから同道して下さ
り、バス代はおろか食事
も辞退して、一日フルに
私のために使って下さ
いました。

また私が事故に遭っ
た時のこと、現場で私を
見た人からの連絡で事
故のことを知った友人か
らさらに連絡を受けた友
人二人は、一人は隣街
から毎日のように何かと
御用聞きに来てくれ、も
う一人はドクターの「今
のところマッサージで全
身をほぐすしかない」と
言う言葉に、これまた毎
日のようにマッサージに
通って来てくれました。

時々行き過ぎでは無
いかと思うくらいに、人
のために自分の時間を
惜しげもなく提供してく
れます。入院したと聞い
てもお花などを持って
一度か二度お見舞いに
行っただけで済ませて
いた自分の生き方を大
いに反省してしまいま
した。同じ事を日本に來
た人達に期待されたら
どうしようなどと思ったり
した自分を恥じていま
す。時間を人の為に使

才 恣为我治病，因
此，每天来为我按
摩。

我常感受到他们
「超过平常」的特别
照顾，他们不惜花费
时间，一心为人设想。
回想自己往昔听人住
院时，仅携花去探访
一、二次的行为，觉
得有必要反省自己的
生活态度，也想到同
样行为能期待日本人
作吗？为他人而费时，
是不是一件难事？

还有下述事让我
难忘。今年初因弄错
手提行李勿勿搭时，
机上均已满座，不可
能再放置手提行李。
这时，有一位墨西哥
男性却主动出手协助
我，拿起我那快超过
行李大小限制的手提
箱，从成田到洛杉矶。
他的脚下放置着我的
行李，弯着膝盖，飞
行了一程极不舒适坐
姿的旅游，却让我完
成一段十分愉快的机
上之旅。

如果说是因我运
气好，所以到处遇到
贵人，那么也未免太
多亲切的人士吧！过
多的偶然便不可说是
偶然。我认为他们的
共同特质是有「无论
任何人皆可安心、安
身的表里一致的笑容
吧」！

【翻译：杨 桂香】

escoger algunos
ejemplos:
Ha habido muchas
ocasiones de las que
puedo hablar de la
bondad de la gente; para
tomar solamente una,
cuando tuve un dolor
lumbar. Cuando visité la
casa de mi amigo, su
madre, con quien me
reunía por primera vez,
fue muy generosa al
darme su medicina
preciosa, diciendo que
me ayudaría con mi dolor
lumbar. Escuche que un
pariente suyo fue a lo
más profundo de la
montaña a obtener la
medicina. Otra persona
me presentó a un "doctor
ilustre" de una ciudad
cercana. Cuando me bajé
del autobús en la
terminal de autobuses a
una hora de mi ciudad:
su hermana, con quien
había hablado
escasamente antes, se
reunió conmigo y me
acompañó por casi medio
día, cuidándome muy
bien porque ellos
pensaron que mi español
no era suficiente. Fue
para mí una sorpresa
magnífica, cuando viajé
otra vez para ver a mi
doctor, ella me esperaba
en la terminal de
autobuses, y me
acompañó una vez más y
además me invitó a su
casa a comer. También,
una masajista en
Guanajuato me dijo que
como ella tenía más edad
y que era un poco difícil

her sister, with whom I
had scarcely talked with
before, met me. She
accompanied me for
almost half a day, taking
very good care of me
because they thought my
Spanish was not good
enough to communicate.
To my great surprise, the
next time I traveled to
see my doctor, she was
waiting for me at the
bus-terminal, and
accompanied me once
again; afterwards inviting
me to her house to eat.

Also, a masseuse in
Guanajuato told me that
as she was getting older
and that it was a little
difficult for her to do a
good job she would
introduce me to her friend
who had a better
technique. She
accompanied me one
early morning to a
neighboring city, which
was 3-hours ride on the
bus, and refused to
accept not only her bus
fare but also the lunch I
offered, and spent a
whole day with me.

Furthermore, when I
had a traffic accident,
one of the onlookers told
what happened to his
friend, who in turn told
my friend, and she in turn
told another friend of
mine. One of them
visited me from a
neighboring city almost
every day to look after
me and ask me whether I
needed any help.
Another friend also
visited me every day to
give me a massage
because she had heard
the doctor's advice: "At
present, there is nothing
better than massage to
take the stiffness out of
your body."

Mexican people
generously offer up their
own time for others.
But sometimes I feel they
go too far. Their
generosity has caused

う事と言うのはとても難しい事であると思いませんか？

またこんな事も有りました。今年初めてのことでしたが、荷物の手違いで時間ぎりぎりに搭乗し、満席で、手荷物入れは満杯状態のことがありました。持ち込み制限ぎりぎりの機内持ち込み荷物とハンドバッグと言うには大きすぎる鞆を抱えていた私に手を差し伸べて下さったのはメキシコの男性でした。成田からロスまでの長旅を自分の足下に私の荷物をおいて下さって、ずっと膝を窮屈に折った状態でのフライトとなってしまいました。大変な御迷惑を人様にお掛けし、自分も勿論のこと窮屈な思いをしたもののその方のお蔭で楽しいフライトになりました。

たまたま私が運良く親切な優しい方達に巡りあっただけだったと言うには、余りにもたくさんの親切を受けてしまったように思います。偶然が重なり過ぎると、これは偶然とは言えないのではないかと思っています。こうした人達に共通しているのは、どの人もこちらが心から安心して頼ってしまいたくなるような本物の笑顔を持っていると言う事でしょ



para ella hacer un trabajo bueno, me presentó a su amigo que tenía mejor técnica. Ella me acompañó una mañana muy temprano a una ciudad cercana, que estaba a tres horas en autobús, rehusó aceptar no sólo el precio del billete de autobús sino también el almuerzo y pasó el día completo conmigo.

En otra ocasión, tuve un accidente de tráfico, uno de los observadores dijo lo que aconteció a mi amigo, quien a su vez se lo dijo a mi amiga, y ella también lo contó a otra amiga mía. Una de ellas de una ciudad cercana a una hora en autobús me visitó casi todos los días para cuidarme y me preguntaba si necesitaba alguna ayuda. Otra amiga también me visitó todos los días para darme unos masajes porque ella había oído el consejo de mi doctor: "Por el momento, solamente puede recibir masajes para quitar la rigidez del cuerpo."

La gente mexicana ofrece generosamente su propio tiempo para otros por nada. A veces siento que de todos modos ellos se están pasando de la raya. Reflexioné muchas veces en mi manera de vivir, aunque oyerá que alguien estaba en el hospital, yo sólo la visitaba un par de veces con flores, etc. Estoy también avergonzada de mí misma que a veces pienso en que si alguien me visitara en Japón y ellos esperan de mí lo mismo, ¿qué haría yo? Es muy difícil usar el propio tiempo para otros, ¿No piensa usted así?

Tuve también la siguiente experiencia. Al principio de este año, por equivocación o algo mal con mi equipaje, subí al avión en el último momento. Todos los asientos estaban ocupados y los espacios de arriba estaban llenos. Ese día, yo había traído el equipaje más grande posible y una bolsa que era aparentemente demasiado grande para llamarla: "Una bolsa". No sabía qué hacer. Entonces un caballero mexicano me dio una mano en ese momento. Él puso mi equipaje grande debajo de sus piernas y levantó las rodillas todo el largo vuelo de Narita a Los Angeles. Estaba avergonzada porque lo molesté, también me sentí incómoda en mi espacio, pero gracias a su bondad, resultó ser un vuelo muy agradable para mí.

Me parece que recibí mucha amabilidad aquí, podría decir que tuve demasiada suerte al encontrarme con esta gente generosa. Cuando hay tantas oportunidades una tras de otra, no se puede decir que eso "fue por casualidad". Una característica común de la gente mexicana es que todos ellos tienen un genuino modo de sonreír que permite que nos sintamos seguros y confiados.

me to reflect many times on my own way of living. When I have heard someone is in hospital, I would usually only visit them once or twice with flowers and the like. I am also ashamed of myself that sometimes I think, if someone from Mexico were to visit me in Japan and expected the same behavior as they extended to me, what would I do? It is very difficult to use one's own time for others, don't you think?

I also had the following experience. Early this year, due to a problem with my luggage, I boarded the plane at the last moment. All the seats were occupied and the overhead spaces were full. That day, I had brought with me the largest possible luggage allowed and a bag, which was apparently too large to call a "handbag." I was at a loss. It was a Mexican gentleman who gave me a helping hand at the time. He put my large luggage at his feet and drew up his knees all through the long flight from Narita to Los Angeles. I was ashamed that I had troubled him. I still felt cramped in my space, but thanks to his kindness, it turned out to be a very pleasant flight for me.

The numbers of times people have been kind to me have been too many to put it down to just 'being lucky.' When there are so many incidences, one after another, it can't be said, "it was by chance." A characteristic common to the Mexican people whom I met is that they all have a genuine beaming smile, one we can depend on.

ニュージーランドから
(16)
アオテアロアから

外石 弥生 (日本)

yayoi@hello.to

【9月12日記】

7月よりNZでもNHKの衛星放送が受信出来る様になり(受信する為には、ディッシュの取り付けとデコーダーが必要で、更にはNHKではなく配給会社に受信料を払わなければなりません)、我が家のテレビは日本語放送と同時に中国語、韓国語放送が新たに加わり、たちまち賑やかになりました。ネットの恩恵を授かっている私ですが、やはり映像と音声で得られる情報は嬉しいはずであるものの、実際に聞こえてくるのは何故か暗いニュースが多く、考えさせられます。

その最たるものが最近の青少年が絡んだ犯罪です。ネット上で流れるニュースは一行の見出しだけでしか、確認していませんでした。云いかえれば、「あっ、また少年の殺人事件。昨日の今日、今度はこっちか」と麻痺していたのかもしれませんが。しかしながらテレビ放送では、事件後の詳細についての情報が逐一報道され、耳に入ってくるものからです、無関心ではいられなくなります。

学校の休みにになると、NZには多くの子どもたちが(小学校高学年から)語学学習の為にやってきます。私も子どもを預かる機会が増えました。彼らの両親は早いうちに英語に馴れ親しんでもらいたいという思惑からNZ人家族でのホームステイを希望しますが、大半の子どもは初めての海外生活で、何もかもが初めての体験ですから、いきなりNZ人家庭に放り込むことは出来ま

新西兰鸿信
(16)
来自阿欧泰阿罗阿

外石 弥生 (日本)

yayoi@hello.to

【9月12日】

从7月起，新西兰也能收到NHK卫星传播了。(为了接收这节目要按装室外接受品而且不是向NHK，必须向提供此节目的公司支付接受费)。我家的电视节目中，除了日语节目的同时，并增加了中文和韩文节目，立刻热闹起来了。我是受益于网络发展的，虽然喜欢依靠图像和声音得到各种消息，但实际上听到的为什么都是阴暗的报道。这不得不令我深思。

典型的是关于青少年犯罪。网上的新闻纸是一行标题。换句话说：“啊，又是少年犯罪，昨天和今天都是，这下该轮到这里了吧！”说不定会麻木不仁的，但是电视广播，对事态的发展，会追踪报道，所以不得不使我不关心。

学校一放假，在新西兰，很多孩子们(小学的高年生)为了学习语言而来这里。我也增加了照顾孩子们的机会。他们的父母期待着能早日度过英语关，而希望孩子们住到新西兰的家里去。但大多数的孩子都是初次来到海外，一切都是生疏的，所以不能一下子把他们放到新西兰人的家庭中去。

可以说会“你早”“请”“谢谢”，这常用的话就可算作会交流了。实际上虽然不能自由会话，但有几次看到他们想方设法解决了问题。与被送到这里的孩子一接触，发现很多连基本礼貌用语都不会。令我十分遗憾。

象早晨起床“你早”，回到家“我回来了”“我不客气了”“谢谢您的招待”“谢谢”等这些日常生活中最起马的礼貌用语都不会，我觉得，让他们住到新西兰人家里去是羞耻的，有的孩子上

A Letter from New Zealand
(16)
Hello From Aotearoa

Ms. Yayoi Sotoishi (Japan)

[September 21, 2000]

We have been able to receive the satellite broadcasting service of NHK (Japan Broadcasting Corporation) in New Zealand since July this year. (Of course, we need to install a set of parabolic antennas and a decoder to receive it. In addition we have to pay a license fee not to NHK but to the distribution company.) Now we enjoy watching Chinese and Korean TV programs as well as Japanese ones with this marvelous equipment. I receive various benefits from the information of the Internet but TV programs with pictures and voice are more appreciated and exciting. The contents of the actual news on the TV screen, however, are mostly gloomy, which makes me thoughtful.

The most dismal news is that of crimes committed by youths. I used to receive the content of the terrible news only as a one line heading on the Internet and would only think 'just another crime committed by a teenager, yesterday we had one and then today we have another one.' Probably my sense of discrimination of good from evil had been atrophied. Now I can no longer be indifferent to the news because it is reported in detail with concrete and minute information through TV pictures.

During the summer holidays a lot of Japanese children come to New Zealand to study English. (Their ages range from the higher grades of the elementary school up.) I have had more chances to take care

せん。

よく、「Hello」「Please」「Thank you」の3つの言葉が発せられればコミュニケーションは可能といえますし実際、言葉が自由に通わなくてもあとは心が解決してくれる場面を何度も見えています。しかしながら、こちらに送られて来る子どもたちに接していて気がついたのですが、コミュニケーションの基本となる「挨拶」が全くできない子どもが多く、残念な気持ちになる時があります。

朝起きて「おはよう」、家に帰ったら「ただいま」、「いただきます。ごちそうさま」、「ありがとう」等、日常生活の上で使われる最低限の挨拶が出来ない子どもを、私はNZ人の家族に恥ずかしくて預けられないのです。英語のレッスンを受けて先生の家へ行き、ドアが空いていると「Hello」と声もかけず無言で勝手にズカズカと土足で入っていきってしまう子もいました。他人の子どもを預かるというのは大変な責任ですし、私が預かる子どもはほとんどが知人の子どもですから、それらの無礼に接すると私は注意しますし、あまり態度が悪ければ叱ることもあります。しかしながら、親元を離れての生活は馴れてくるとストレスも溜まり、「事故やケガがなく、楽しい思い出を持って帰ってほしい」というのが、最優先課題ですから程々に留めておきます。

また、感動を表すことが大変苦手に写ります。「何がしたいのか」「何がいいのか」という自分の意思を伝える事も面倒がります。「別に」「何でも」という答えが返えされると、私はため息が出ます。自分に関係のない事や、影響が及ばない事であれば、たとえ気になっても関心を示さない傾向があるようです。そんな子どもを見ていた友人は、きっと彼らは親が死んでも、「あつ、死んでる」程

英語課去老师家，只要门没有关着，就不打招呼的不脱鞋就进去了。要照料别人的孩子是件不容易的事情，我所照料的都是熟人的孩子，所以他们一没有礼貌我就要指出，态度不好的话我还要斥责。但要习惯离开自己父母的生活，精神压力非常大。为了使他们平安无事，并带着愉快的回忆而回去，所以有时候我也就对他宽松一些了。

而且，要他们受感动是件困难的事。“想干什么”“什么样的好”这些要他们表达意向的事是懒得做的，往往他们回答我什么都行，说什么特别要求时，我都叹了口气。只要是与己无关，没影响的事，或即使注意到的事，都不会表示关心。朋友们看到这些孩子，肯定会觉得他们的父母如果死了，也只会无情无义的说声！“啊！死了。”而了之。

8月份发生少年行刺家中6人，3人死亡的事件。追究其犯罪动机时，竟说是受到家里人的冷落，我感到没有接受社会交际训练的孩子都发出着这种信号。不想和人接触时就躲在里玩电脑游戏，而要别人和他玩时，都在房间里独自一人玩的孩子。我感到即使他们想要别人和他一起玩，自己也不会主动要求的。

在少年孩子的潮流中，受到溺爱而成长的孩子在表达自己意思的方法上，从婴儿时代（一不称心就闹）以来，似乎是没有得到改进。犯杀人罪的少年往往把犯罪动机说成是“没办法了”。虽然无法正确把握这没办法的含义，但可认为“虽然发了信号，但再也无法忍耐了。”清楚地表达自己的见解、想法，同时听听别人的意见“这是为了发展人际交流面必须循序渐进的事。觉得封方不理解自己的意思时，那就是在沟通能力上有问题。这时大人们应发挥自己的作用，督促其改善总之，往往对他人不关心，但作为先到这个世界上来的人，有责任承担这一教育义务。

【翻译：沈建明】

of them than before. Their parents want them to stay with New Zealand families as soon as they arrive here in order to get used to being in an English language environment. However, most of them have never experienced living overseas and everything is new to them. Accordingly I cannot put them into a New Zealand family as soon as they arrive. It is often said that communication is possible if we can just say 'Hello,' 'Please' and 'Thank you.' Actually I have seen many communication problems solved by 'the heart' even when verbal communication was lacking. However, I have found through contact with children sent here from Japan that very many are not properly able to exchange greetings which is the basis of communication. I feel this is very regrettable.

I feel ashamed to ask a host family to receive Japanese children who are not even able to use basic expressions proper to daily life in the family. Those words are 'Good morning' when they wake up, 'Tada-ima!' expressing 'I have just got back home' in Japanese when they come back home, 'Itadaki-masu!' meaning 'May I start eating?' before eating, 'Gochiso-sama' showing 'I am full. Thank you for the delicious food' after the meal and 'Thank you' on various occasions. Some children, when they visited the teacher for their English lesson and if the door of the house was open, would rudely enter the house with their muddy shoes on, without even saying 'Hello'

Taking care of young children is a responsible job. Since most of those I receive are children of my acquaintances, I correct them when I happen to see their rude manners.

度で表情は変えないのだろうって冷酷に評していました。

8月に起きた事件で、近所の家族6人を刺し、3人を死亡させてしまった少年が犯行の動機として「彼らに無視された」と語った旨の報道がありましたが、コミュニケーションの訓練がされていない子どもでもそれなりのシグナルを発していると感じます。人と接したくない時は部屋に閉じこもってコンピューターゲームをしているのですが、声をかけてもらいたい時は黙々と居間で一人遊びをしていた子どもがいました。遊んでもらいたくても、自分からは声を発せられないのだと感じます。

少産化の流れの中で過保護に育てられた子どもは、意思の疎通のはかり方が乳児時代の手法(気に入らないと暴れる)以来、成長がストップしているのではないのでしょうか。殺人を犯した少年が犯行の動機を「切れた」と表現しているのも多く、「切れる」という意味を正確につかめませんが、「シグナルを発していたけれど、忍耐が底を尽いた」というものだと考えます。「自分の意見をはっきり伝える、考えを述べる。同時に人の意見にも耳を貸す」。これらはコミュニケーションを発達させる為、段階的に養っていかなければならない事ですが、相手に自分の意思が通じないと感じたら、「意思疎通能力に問題あり」と改善を促すことが大人の役割であると考えます。とかく、他人に対して無関心を装いがちですが、先に生まれた者の責任として、それを担う姿勢の大切さを感じています。

In cases when they are very impolite, I even scold them. I understand that they must feel stressed in their daily life, being away from their families for some time. Consequently I know the highest priority for me is to make sure that they have an enjoyable time without any accidents and injuries, and that they go back to Japan with wonderful memories of New Zealand. So I try not to be too severe.

Furthermore I realize that children are not very good at expressing their feelings. They do not want to tell others such things as what they want to do or what they like to do and so on. When I ask something and they answer me in such a way as 'I don't care' or 'Anything will do,' I give a sigh. In cases of things unrelated to themselves or not affecting them, they tend not to show their emotions even when they have concern or anxiety. Observing one of those children, one of my New Zealander friends criticized him cruelly, saying that the child does not seem to express any feeling and that even when a parent passes away, he will only say 'Someone is dead.'

However, I may say that even the children who are not trained to communicate give us a signal in some way. For example, in the terrible incident in August in which a youth stabbed six people of the neighboring family resulting in the death of three of them, the report says that the boy confessed his motive for the crime as his 'being ignored by the family'. One of the children I took care of stayed in the house and only played computer games in his bedroom when he did not want to communicate with others. On the other hand, even when he wanted to be invited out by somebody, he played by himself in the living room without saying anything. I guess he couldn't speak out even when he wanted to play with others.

I have noticed that for many children in the small families of today, communication skills do not seem to have matured since infancy when overprotective parents gave in to their temper tantrums making violent behavior an effective means of achieving their will. Many Japanese adolescents who have committed murder have expressed their motives in a Japanese word, 'Kireta', which carries the meaning, 'I have sent some signals but my patience is exhausted.'

I believe that we have to foster the spirit of 'Telling people our own opinion clearly, expressing our own ideas and at the same time listening to others' step by step. Furthermore, when we see the children who cannot make themselves understood, we should encourage them to improve by admitting that they have problems communicating with others. I believe that is the role of adults.

We tend to be indifferent to others but I feel it important for us as their seniors to take the responsibility for young people.

[translated by: Y. Tsukuda]



編集後記

いよいよ 21 世紀に突入です。皆さま、どんな抱負を持って、文字どおり世紀の一瞬を待ち構えていらっしゃるのでしょうか。

「IT 革命」が流行語となっている 20 世紀末の傾向にはさらに拍車がかかるのでしょうか。

「サウス・ウィンド」でも、この革命のおかげで世界中から声が届き、翻訳者や校正者の応援を受けられています。

巷では、若者たちを中心に、手の中に収まる機器で通信をしている姿が至るところで見受けられます。携帯電話で長話というのは、すでに過去の騒音になりつつあります。黙々と小さなウィンドウを睨んで、親指を動かしている人たちを見ると、つい先ごろまで他人の迷惑も考えず、受話器に向かって感情を表わしていた姿が懐かしくさえなってきます。少なくとも、彼らには生き生きとした表情がありました。

ひょっとして、彼らは声を出すことを忘れるようなことにならないか、と、私の老婆心が騒ぎます。機器を通じないと意志疎通が困難となるような、恐ろしく無機質な人間世界の出現は、ばかげた幻想であることを願っています。

私たちは、他の動物たちと同様、声を掛け合い、触れ合うことでお互いを意識し、慰め、愛し合ってきました。私は、この本能的行動をととても愛しく思っています。

新しい世紀突入を機に、自分は何を望んでいるのか、何を幸せと感じているのか、じっくりと考えてみてはいかがでしょう。

編集長：中野義子

编辑后记

即将奔向 21 世纪了，各位怀着什么样的抱负呢。如字面那样是在等待那世纪的一刹那吧。

「IT 革命」在成为 20 世纪末流行语以来的趋势会更进一步加速的吗，譬如「南风」也托福于这场革命，得到来自世界各地的呼声及翻译者和校对者的支援。

在街上，以年轻人们为中心，用持在手里的机械来通讯的情形到处可见。因为用携带电话长谈已正在成为过去的噪音。一看到默默地盯视着液晶窗，活动着拇指的人们，甚至怀念起不久以前，也不去考虑是否会打搅别人，对着手机感情形于色的情形，但至少，在他们脸上有了生气勃勃的表情。

或许，他们不会忘记了说话吧。我有些心神不安，如不通过通讯机械便难于沟通思想，希望可怕的无机物人间世界的出现是个荒唐的幻想。

我们与其他动物们相同，用相互交谈、相互接触来彼此认识、抚慰、爱护，我觉得这种本能性的行动是非常可爱的。

在即将进入新世纪之时，自己期望着什么，觉得什么是幸福，仔细地思考一下如何。

「南风」编辑长：中野 义子

【翻译：张 晓鸿】

certain devices.

We are beings who, just like many animals, are aware of our friends, are compassionate toward them and love them, by addressing and touching them. I would never like to abandon these dear instinctive actions.

On the occasion of the turn of a new century, why don't you ask yourself what you really want and what generates your true happiness?

Post-Script

In a month or so, we shall be living in the 21st century. What do you expect to experience at the turn of the century?

The term "IT Revolution" has been in vogue since the end of 20th century. Will this trend continue to accelerate further? Information technology has allowed South Wind to publish articles by contributors and helps in translation and proofreading from various places of the world.

Nowadays we observe many young people communicating with others through tiny devices held in their hands, everywhere in town. The annoying noise caused by a lengthy conversation over a cellular phone is already disappearing. When I see people enthusiastically engaged in moving their thumbs and following the miniature letters appearing in a small window of the device, I miss those who were talking on the cellular phone without paying any attention to their neighbors. Impolite and rude, but they had something vivid in the air.

My serious concern is that they may forget how to articulate the words some day. I sincerely hope that it is a ridiculous illusion if I imagine an inorganic world where people feel uneasy about communicating with others without

Yoshiko NAKANO, Editor in Chief



South Wind No. 28

史跡・三味せん寺 大信寺／史迹，三味线寺 大信寺的魅力／A Historic site: Shamisen Temple (Daishin-ji Temple) (阪田久美子／Ms. Kumiko Sakata)	1
Expo 2000 Hannover (ハノーバー) (松岡カテリーナ・洋子／Ms. Katerina Yoko Matsuoka)	5
ブラジル大使館を訪問して／访问巴西大使馆／Visit to the Brazilian Embassy (倉谷真央／Mr. Masao Kuratani)	6
ムスリムの暮りのない生活-2/穆斯林的自然而然的生活-2/The Natural Life of Muslims-2 (権上かおる／Ms. Kaoru Gonjo)	7
お料理レシピ／享调法／Recipe (外石弥生／Ms. Yayoi Sotoishi)	11
港区今昔／Look into Minato City (なか こういち／Mr. Koichi Naka)	13
バンコクの四方八方／曼谷的四面八方／All Directions of Bangkok (岩船雅美／Mr. Masami Iwafune)	17
グアナフアトからこんにちは!／从瓜纳华托致敬／Hello from Guanajuato (小野田マサ子／Ms. Masako Onoda)	20
ニュージーランド便り／新西兰鸿信／From New Zealand (外石弥生／Ms. Yayoi Sotoishi)	24
アメリカ便り／美国的时记／A Letter from the U.S.A. (ステイガ・ンス・ハルミ／Ms. Harumi Stephens)	21
編集後記／编辑后记／Post-script.....	27